

公益財団法人可児市文化芸術振興財団・アニュアルレポート

KANI CITY ARTS FOUNDATION · ANNUAL REPORT

2023



公益財団法人 可児市文化芸術振興財団

公益財団法人可児市文化芸術振興財団  
アニユアルレポート 2023

## もくじ

### はじめに

### 文化芸術鑑賞だけを経営目的にはしない

#### I 公益財団法人可児市文化芸術振興財団の概要

1 役員名簿	1
2 組織体制	2
3 令和5年度決算状況	3

#### II 可児市文化創造センター運営状況

1 施設利用状況	9
2 来館者実績表	10
3 観察対応表	11

#### III 令和5年度事業報告

1 事業一覧	12
2 鑑賞体験促進事業 事業報告	15
3 まち元気・市民交流促進事業 事業報告	29
4 共催事業 事業報告	62
5 その他公益目的事業 事業報告	66
6 新聞掲載記事	67
7 アーラフレンドシップ会員集計表	68
IV 施設概要	69



## はじめに

市民の皆様をはじめとする関係各位には、日ごろより可児市文化創造センター・アーラの活動に対してご支援、ご協力をいただき厚くお礼申し上げます。

令和5年度はこれまでと同様に、文化芸術を通して全ての市民が地域社会で生き生きと暮らすことができるまちづくりへの貢献をめざして、アーラの管理運営を行いました。「芸術の殿堂」ではなく、人々の思い出の詰まった「人間の家」として、市民のたくさんの笑顔に寄り添える「えがおの劇場」づくりに向けて、文化芸術の力でまちを元気にする取り組みである「ala まち元気プロジェクト」を積極的に展開いたしました。文化芸術が持つ社会包摂機能を最大限に活かしながら、人と人のつながりと生きる活力の創出を図ることができたと考えております。

また、市民が良質の文化芸術に触れることができるよう、文学座や新日本フィルハーモニー交響楽団との地域拠点契約に基づく事業はもとより、音楽や演劇、伝統芸能、映画など、多分野に渡って事業を実施することができました。

その1年間の成果を本冊子にまとめましたので、ぜひご高覧いただき、アーラの現状をご確認いただくとともに、ご意見、ご感想をお寄せいただければ幸いに存じます。

アーラは、前述の「ala まち元気プロジェクト」により、全国的に高い評価をいただいており、独立行政法人日本芸術文化振興会の助成事業である「劇場・音楽堂等機能強化総合支援事業」において、全国12施設の一つとして採択されております。昨今の劇場経営の環境は厳しさを増しておりますが、これからも全国の公立文化施設、地域劇場のモデルとして、市民の自慢の施設であり続けることができるよう不断の努力を重ねてまいりますので、今後も変わらぬご理解、ご協力をお願ひいたします。

令和6年8月

公益財団法人 可児市文化芸術振興財団  
理事長 肥田 光久

## 文化芸術鑑賞だけを経営目的にはしない

可児市文化創造センター・アーラ館長 篠橋義朗

令和5年度はコロナ禍もようやく収束し、私たちの任務として、まずはコロナ禍以前の経営状態に戻す活動の年となりました。令和5年度は来館者数においてはまだまだ以前のような人数に達しませんでした。これはコロナ感染予防としてイベント等を自粛してきた影響によるものです。しかしアーラ主催の事業におけるチケット販売額は、開館以来、最高額に達しました。これはコロナ禍の期間中の感染に対しての疑心暗鬼で鑑賞を控えていたお客様がようやく戻ってこられたためと大変嬉しく思っています。ようやくこの時期になって人々の心を癒し、明日の元気のために文化芸術を鑑賞する機会が待ち望まれていたのだと思います。

アーラの事業での大きな柱は社会包摂事業と鑑賞事業であります。この鑑賞事業のチケット収入の増加は、ほとんどが収入を見込めない社会包摂事業とは相反する組み立てのように思われるかもしれません、アーラの支持者、「岩盤」となるお客様を増加させていく確実な手法であると思っています。この「岩盤」の拡大がすなわち文化芸術の盛んなまちであり、「住みよく心豊かなまち」となるのだと思っています。そのための「まち元気プロジェクト」なのです。そして、そのことが文化庁の外郭団体である独立行政法人日本芸術文化振興会の補助金の採択につながっているのだと思います。それはまちづくりであったり子育てであったり多文化共生や観光にウイングを抜けた国の文化芸術政策を体現しており、それがこの可児市であることの証左であると理解しています。つまり、さまざまな人間活動のなかに文化芸術が関わることによって、生活の質の向上や心の豊かさの醸成につながるのだと思っています。

今日も学校帰りの子どもたちが水と緑の広場で遊んでくれています。休日になれば家族や高齢者の方たちが散策したり、ロビーで時間を過ごしたりしています。劇場・ホールで芸術を鑑賞するためだけの施設ではこのような現象は起こりません。公立文化施設である劇場の経営的にはチケット料金や施設利用料金に反映しないことに課題をおくことなく、文化芸術活動を目的にしない市民が行き交う劇場こそがこれから求められる劇場であると思います。

## I 公益財団法人可児市文化芸術振興財団の概要

# 1 役員名簿

(令和6年3月31日現在)

## [理事]

理 事 長	高 木 伸 二	可児市副市長
専 務 理 事	篠 橋 義 朗	可児市文化創造センター館長
常 務 理 事	各 務 則 行	可児市文化創造センター事務局長
理 事	澤 野 親 司	NPO法人alaクルーズ理事長
理 事	高 島 勝	可児市ボランティア連絡協議会会長
理 事	藤 田 幸 夫	可児商工会議所会頭

## [監事]

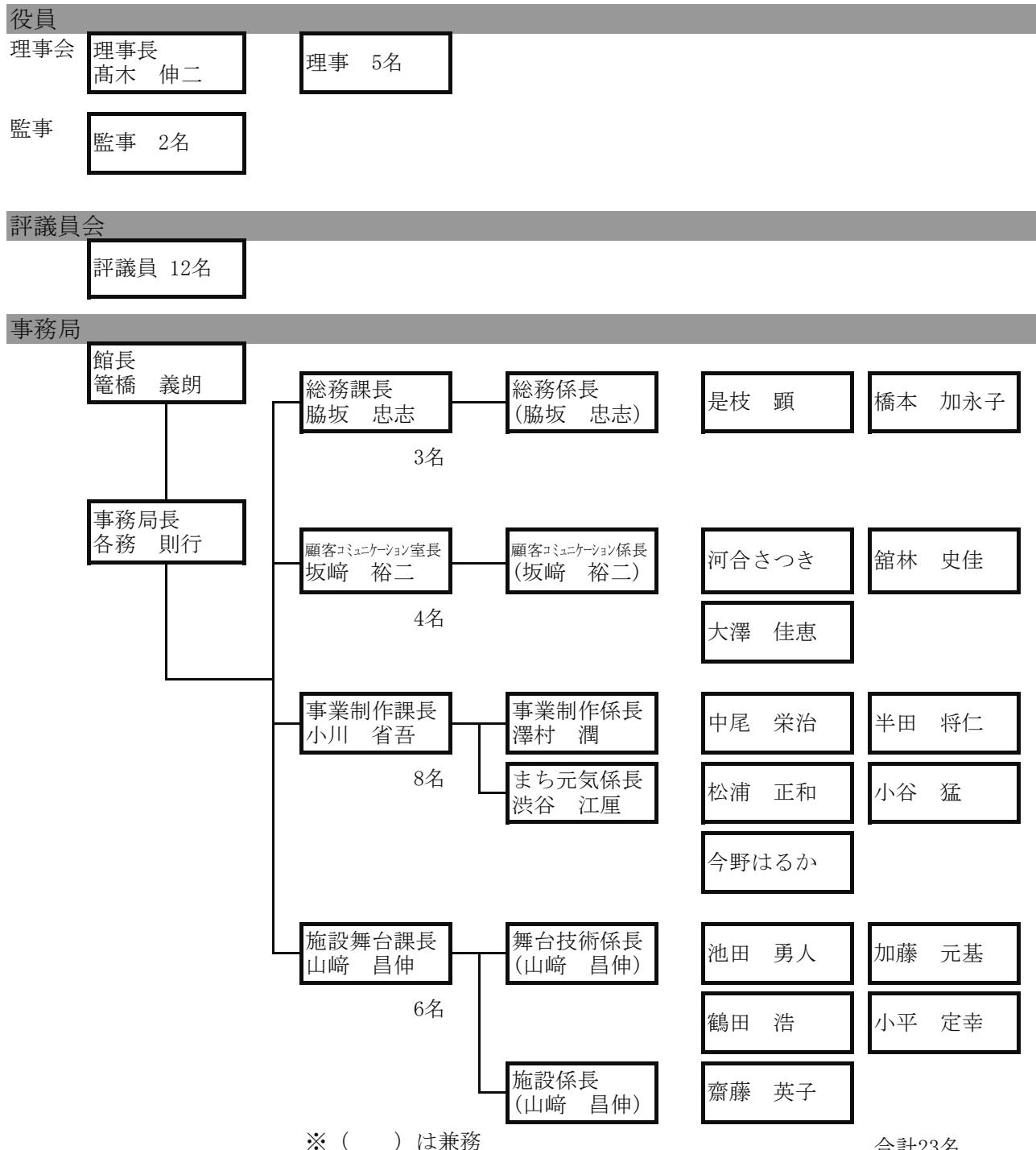
監 事	星 野 京 子	元可児市教育委員
監 事	渡 邊 和 幸	公認会計士

## [評議員]

評 議 員	各 務 真 弓	NPO法人可児市国際交流協会事務局長
評 議 員	武 井 祐 子	可児交響楽団団長
評 議 員	谷 口 公 一	株式会社ケーブルテレビ可児代表取締役社長
評 議 員	玉 置 浩 司	可児市地区センター連絡協議会副会長
評 議 員	田 牧 茂 樹	元東濃信用金庫専務理事
評 議 員	津 田 敏 一	可児市民第九合唱団顧問
評 議 員	成 松 誠 一	可児市文化協会会长
評 議 員	畠 佐 卓	可児市PTA連合会子育て委員長
評 議 員	濱 田 卓 司	元可児市自治連絡協議会会員
評 議 員	堀 部 好 彦	可児市教育長
評 議 員	村 上 克	可児市小中学校校長会長
評 議 員	吉 鷹 奈 津 子	ピアニスト

## 2 組織体制

(令和6年3月31日現在)



各課の役割	
総務課	人事、経理、契約、文書管理、規程類の管理、理事会・評議員会の事務、その他庶務
顧客コミュニケーション室	広報・宣传（ホームページ・チラシ・ポスター・ala TIMES等）、チケット管理、アーラフレンドシップ会員管理、プランディング、専門家育成、市民ボランティア組織育成・支援、貸館、情報コーナーの管理
事業制作課	鑑賞型・創造型事業の実施、講座系事業の実施、アウトリーチの実施、市民の文化芸術活動支援
施設舞台課	施設の維持管理、 【舞台】舞台機構の管理・操作、自主事業における舞台監督 【照明】舞台照明設備の管理・操作、自主事業における照明プラン・オペレート 【音響】音響設備の管理・操作、自主事業における音響プラン・オペレート

### 3 令和5年度決算状況

貸借対照表

令和6年3月31日現在  
(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増減
<b>I 資産の部</b>			
1. 流動資産			
(1) 現金預金			
現金預金	26,186,568	35,492,274	△ 9,305,706
現金	982,120	1,260,835	△ 278,715
普通預金	25,204,448	34,231,439	△ 9,026,991
現金預金合計	26,186,568	35,492,274	△ 9,305,706
(2) その他流動資産			
未収金	66,399,939	53,356,421	13,043,518
前払金	1,308,396	1,045,415	262,981
仮払金	14,318,400	10,144,500	4,173,900
商品	911,592	917,172	△ 5,580
貯蔵品	0	10,000	△ 10,000
その他流動資産合計	82,938,327	65,473,508	17,464,819
流動資産合計	109,124,895	100,965,782	8,159,113
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
基本財産投資有価証券	60,296,091	59,968,361	327,730
基本財産積立預金	39,703,909	40,031,639	△ 327,730
基本財産合計	100,000,000	100,000,000	0
(2) 特定資産			
退職給付引当資産	20,239,842	17,438,685	2,801,157
特定資産合計	20,239,842	17,438,685	2,801,157
(3) その他固定資産			
車両運搬具	7,004,800	7,004,800	0
車両運搬具減価償却累計額	△ 6,103,678	△ 5,653,118	△ 450,560
什器備品	3,407,400	3,079,600	327,800
什器備品減価償却累計額	△ 1,441,315	△ 1,049,549	△ 391,766
預託金	33,840	33,840	0
ソフトウェア	1,644,298	1,434,070	210,228
その他固定資産合計	4,545,345	4,849,643	△ 304,298
固定資産合計	124,785,187	122,288,328	2,496,859
資産合計	233,910,082	223,254,110	10,655,972
<b>II 負債の部</b>			
1. 流動負債			
未払金	52,533,341	46,023,880	6,509,461
前受金	21,619,600	19,425,350	2,194,250
預り金	2,581,308	2,195,359	385,949
流動負債合計	76,734,249	67,644,589	9,089,660
2. 固定負債			
退職給付引当金	20,239,842	17,438,685	2,801,157
固定負債合計	20,239,842	17,438,685	2,801,157
負債合計	96,974,091	85,083,274	11,890,817
<b>III 正味財産の部</b>			
1. 指定正味財産			
寄付金	100,000,000	100,000,000	0
指定正味財産合計	100,000,000	100,000,000	0
(うち基本財産への充当額)	100,000,000	100,000,000	0
2. 一般正味財産			
正味財産合計	36,935,991	38,170,836	△ 1,234,845
負債及び正味財産合計	136,935,991	138,170,836	△ 1,234,845
	233,910,082	223,254,110	10,655,972

**正味財産増減計算書**  
令和5年4月1日から 令和6年3月31日まで

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益			
基本財産受取利息	231,826	300,714	△ 68,888
基本財産運用益計	231,826	300,714	△ 68,888
事業収益			
入場料収益	52,412,800	43,808,025	8,604,775
参加料等収益	477,400	750,600	△ 273,200
講座受講料収益	811,500	843,500	△ 32,000
物品等販売収益	231,100	63,500	167,600
利用料金収益	35,007,335	33,282,550	1,724,785
販売手数料収益	795,041	502,871	292,170
公演事業収益	19,992,470	18,021,982	1,970,488
指定管理受託収益	438,000,000	438,000,000	0
文化振興事業受託収益	6,500,000	7,902,555	△ 1,402,555
事業収益計	554,227,646	543,175,583	11,052,063
受取補助金等			
受取国庫補助金	0	6,000,000	△ 6,000,000
受取地方公共団体補助金	5,000,000	0	5,000,000
受取その他公益団体等補助金	51,975,000	57,817,000	△ 5,842,000
受取補助金等計	56,975,000	63,817,000	△ 6,842,000
受取負担金			
受取負担金	12,480,341	31,177,000	△ 18,696,659
受取負担金計	12,480,341	31,177,000	△ 18,696,659
受取寄付金			
受取その他寄付金	1,200,000	825,600	374,400
受取寄付金計	1,200,000	825,600	374,400
雑収益			
雑収益	3,763,574	3,423,979	339,595
雑収益計	3,763,574	3,423,979	339,595
経常収益計	628,878,387	642,719,876	△ 13,841,489
(2) 経常費用			
事業費			
給料手当	131,974,319	131,260,098	714,221
臨時雇賃金	3,865,382	3,748,599	116,783
福利厚生費	25,943,392	25,295,840	647,552
食料費	1,059,081	785,335	273,746
旅費交通費	9,211,813	11,322,577	△ 2,110,764
通信運搬費	2,314,639	4,099,758	△ 1,785,119
減価償却費	1,544,050	1,829,339	△ 285,289
車両運搬具減価償却費	382,976	382,976	0
什器備品減価償却費	596,626	746,864	△ 150,238
ソフトウェア償却	564,448	699,499	△ 135,051
消耗品費	5,909,498	8,813,291	△ 2,903,793
修繕費	4,567,566	3,773,068	794,498
印刷製本費	9,675,585	9,022,474	653,111
燃料費	159,466	166,708	△ 7,242
光熱水費	47,100,480	61,092,752	△ 13,992,272
賃借料	15,038,865	14,431,493	607,372
保険料	914,250	799,472	114,778
諸謝金	10,148,443	9,687,566	460,877
租税公課	17,739,213	12,631,024	5,108,189
支払負担金	12,215,987	3,822,088	8,393,899
支払助成金	900,000	1,400,000	△ 500,000
支払寄付金	105,456	147,321	△ 41,865
委託費	274,771,838	270,318,770	4,453,068

科 目	当年度	前年度	増減
手数料	6,867,343	8,396,598	△ 1,529,255
広告料	2,868,800	3,006,300	△ 137,500
雑費	754,592	840,532	△ 85,940
事業費計	585,650,058	586,691,003	△ 1,040,945
管理費			
給料手当	13,237,406	13,216,768	20,638
臨時雇賃金	382,290	370,741	11,549
福利厚生費	2,565,829	2,501,786	64,043
食料費	1,105	821	284
旅費交通費	63,250	98,404	△ 35,154
通信運搬費	65,970	70,691	△ 4,721
減価償却費	170,448	183,868	△ 13,420
車両運搬具減価償却費	67,584	67,584	0
什器備品減価償却費	47,040	47,103	△ 63
ソフトウェア償却	55,824	69,181	△ 13,357
消耗品費	260,356	546,729	△ 286,373
修繕費	444,078	372,258	71,820
印刷製本費	20,493	15,299	5,194
燃料費	15,376	16,191	△ 815
光熱水費	4,658,289	6,042,140	△ 1,383,851
賃借料	363,631	377,898	△ 14,267
保険料	70,175	70,884	△ 709
租税公課	1,821,087	3,248,646	△ 1,427,559
支払負担金	768,658	29,595	739,063
委託費	16,678,805	16,318,488	360,317
手数料	72,643	55,814	16,829
雑費	2,128	900	1,228
管理費計	41,662,017	43,537,921	△ 1,875,904
引当金繰入額			
退職給付引当金繰入額	2,801,157	4,614,082	△ 1,812,925
引当金繰入額計	2,801,157	4,614,082	△ 1,812,925
経常費用計	630,113,232	634,843,006	△ 4,729,774
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 1,234,845	7,876,870	△ 9,111,715
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	△ 1,234,845	7,876,870	△ 9,111,715
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
税引前当期一般正味財産増減額	△ 1,234,845	7,876,870	△ 9,111,715
当期一般正味財産増減額	△ 1,234,845	7,876,870	△ 9,111,715
一般正味財産期首残高	38,170,836	30,293,966	7,876,870
一般正味財産期末残高	36,935,991	38,170,836	△ 1,234,845
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	100,000,000	100,000,000	0
指定正味財産期末残高	100,000,000	100,000,000	0
III 正味財産期末残高	136,935,991	138,170,836	△ 1,234,845

## 財産目録

令和6年3月31日現在  
(単位:円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産)				
	現金	手元保管	通常釣銭他	982,120
	普通預金	東濃信用金庫／可児 0703355 他	運転資金として	25,204,448
	未収金	独立行政法人日本芸 術文化振興会 他	令和5年度劇場・音楽堂 等機能強化総合支援事業 補助金 他	66,399,939
	前払金	日本郵便(株) 他	令和6年度委託契約用収 入印紙 他	1,308,396
	仮払金	多治見税務署	消費税及び地方消費税中 間申告	14,318,400
	商品	手元保管	販売用	911,592
	貯蔵品			0
流動資産合計				109,124,895
(固定資産)				
基本財産	基本財産投資有 価証券	東濃信用金庫／可児	長期利付国債 他 公益目的保有財産であ り、事業の財源として使 用	60,296,091
特定資産	基本財産積立預 金	東濃信用金庫／可児		39,703,909
	退職給付引当資 産	東濃信用金庫／可児		20,239,842
その他固定資産	車両運搬具	手元保管	トヨタ：ハイエース スズキ：エブリイ トヨタ：エスティマ 公益・収益目的事業、管 理運営共有財産である 使用割合 公益：収益： 管理運営=78:7:15	7,004,800
	車両運搬具減価 償却累計額			△ 6,103,678
	什器備品	手元保管	芝生、ゴムチップ舗装	3,407,400
	什器備品減価償 却累計額	(公財)自動車リサイ クル促進センター		△ 1,441,315
	預託金			33,840
	ソフトウェア	手元保管	給与・施設管理システム	1,644,298
固定資産合計				124,785,187
資産合計				233,910,082
(流動負債)				
	未払金	中部電力(株) 他	電気料金3月分 他	52,533,341
	前受金	利用者 他	令和6年度施設利用料 他	21,619,600
	預り金	多治見税務署 他	3月支払報酬源泉所得税 他	2,581,308
流動負債合計				76,734,249
(固定負債)				
	退職給付引当金			20,239,842
固定負債合計				20,239,842
負債合計				96,974,091
正味財産				136,935,991

## 財務諸表に対する注記

公益財団法人可児市文化芸術振興財団

令和6年3月31日現在

### 1 重要な会計方針

#### (1) 有価証券の評価基準及び評価方法

満期保有目的の債券…償却原価法（定額法）によっている。

#### (2) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

棚卸資産の評価基準は、原価法であり、評価方法は最終仕入原価法で行っている。

#### (3) 固定資産の減価償却の方法

固定資産の減価償却方法は、定額法で行っている。

#### (4) 引当金の計上基準

退職給付引当金…全職員が期末に自己都合退職するとして仮定して算出した必要額から、独立行政法人労働者退職金共済機構・中小企業退職金共済事業本部への掛金に基づき算出した退職金相当額を控除した残額に相当する額を計上している。

#### (5) リース取引の処理方法

リース物件の所有権が、借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引にかかる方法に準じた会計処理によっている。

#### (6) 消費税等の会計処理方法

消費税等の会計処理は税込み方式によっている。

### 2 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
基本財産投資有価証券	59,968,361	20,341,850	20,014,120	60,296,091
基本財産積立預金	40,031,639	14,120	341,850	39,703,909
小計	100,000,000	20,355,970	20,355,970	100,000,000
特定資産				
退職給付引当資産	17,438,685	2,801,157	0	20,239,842
小計	17,438,685	2,801,157	0	20,239,842
合計	117,438,685	23,157,127	20,355,970	120,239,842

### 3 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産				
基本財産投資有価証券	60,296,091	60,296,091	0	0
基本財産積立預金	39,703,909	39,703,909	0	0
小計	100,000,000	100,000,000	0	0
特定資産				
退職給付引当資産	20,239,842		0	20,239,842
小計	20,239,842		0	20,239,842
合計	120,239,842	100,000,000	0	20,239,842

#### 4 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価格、額面価格及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価格、額面価格及び評価損益は、次のとおりである。

(単位：円)

種類及び銘柄	帳簿価格	額面価格	評価損益
国債（第368回長期利付10年）	39,972,211	40,000,000	27,789
国債（第372回長期利付10年）	20,253,880	20,000,000	△253,880
合計	60,226,091	60,000,000	△226,091

#### 5 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は次のとおりである。

(単位：円)

補助金等 の名称	交付者	前期末 残高	当期 増加額	当期 減少額	当期末 残高	貸借対照表上 の記載区分
補助金						
受取その他公益団体等補助金(舞台芸術当総合支援事業(劇場・音楽堂等機能強化総合支援事業))	(独)日本芸術文化振興会	—	48,807,000	48,807,000	—	一般正味財産
受取その他公益団体等補助金(劇場・音楽堂等活性化・ネットワーク強化事業(劇場・音楽堂等間ネットワーク強化事業))(フトボールの時間)	(独)日本芸術文化振興会	—	3,168,000	3,168,000	—	一般正味財産
受取地方公共団体補助金(活動事業補助金)('オーケストラで踊ろう')	可児市	—	5,000,000	5,000,000	—	一般正味財産
負担金						
受取負担金(基本協定第36条 リスク分担 エネルギー価格高騰)	可児市	—	11,800,000	11,800,000	—	一般正味財産
受取負担金(エイブルアート展共同実施)	可児市	—	672,000	672,000	—	一般正味財産
受取負担金(紙芝居一座公演)	シダックス大新東ヒューマンサービス(株)	—	5,000	5,000	—	一般正味財産
受取負担金(紙芝居一座公演)	(福)多治見市社会福祉協議会	—	3,341	3,341	—	一般正味財産
合計		0	69,455,341	69,455,341	0	—

### 附属明細書

#### (1) 基本財産及び特定資産の明細

財務諸表の注記に記載済みであり省略している。

#### (2) 引当金の明細

財務諸表の注記に記載済みであり省略している。



## Ⅱ 可児市文化創造センター運営状況

## 1 施設利用状況

### (1) 諸室稼動状況

(単位：日)

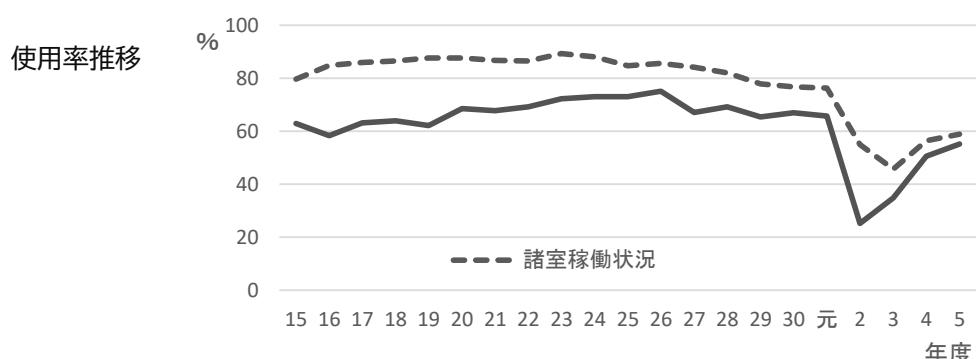
施 設	令和4年度			令和5年度		
	使用日数	使用可能日数	使用率	使用日数	使用可能日数	使用率
主劇場（宇宙のホール）	145	283	51.2%	139	271	51.3%
小劇場（虹のホール）	141	282	50.0%	161	272	59.2%
音楽ロフト	220	304	72.4%	242	303	79.9%
演劇ロフト	245	305	80.3%	260	304	85.5%
美術ロフト	198	305	64.9%	198	306	64.7%
演劇練習室	251	305	82.3%	253	307	82.4%
音楽練習室1	134	306	43.8%	162	307	52.8%
音楽練習室2	39	285	13.7%	68	307	22.1%
音楽練習室3	97	306	31.7%	106	307	34.5%
映像シアター	94	303	31.0%	85	305	27.9%
ギャラリー	167	306	54.6%	155	307	50.5%
ワークショッフルーム（洋室）	219	306	71.6%	232	307	75.6%
ワークショッフルーム（和室）	235	306	76.8%	219	306	71.6%
レセプションホール	188	306	61.4%	202	307	65.8%
合計	2,373	4,208	56.4%	2,482	4,216	58.9%
利用料金収入	33,282,550円			35,007,335円		

※令和5年度利用料金収入は令和4年度前受金（11,530,350円）を加え、令和6年度利用分の前受金（13,283,500円）を除いて集計しています

### (2) 劇場稼動状況

(単位：日)

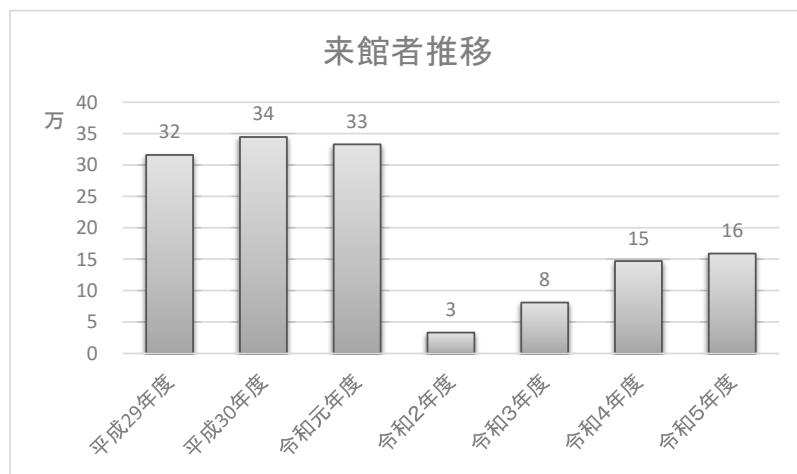
施 設	令和4年度			令和5年度		
	使用日数	使用可能日数	使用率	使用日数	使用可能日数	使用率
主劇場（宇宙のホール）	145	283	51.2%	139	271	51.3%
小劇場（虹のホール）	141	282	50.0%	161	272	59.2%
劇場計	286	565	50.6%	300	543	55.2%



## 2 来館者実績表

(単位：人)

月	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	同期増減率
	利用者数	利用者数	利用者数	利用者数	利用者数	利用者数	利用者数	
4月	21,085	19,443	15,813		4,642	6,650	8,246	124.00%
5月	22,331	19,121	17,127		4,320	7,258	10,379	143.00%
6月	21,268	22,211	23,103		4,268	9,433	11,219	118.93%
7月	21,063	24,393	25,436		6,981	13,869	12,443	89.72%
8月	24,161	26,791	26,844		9,847	11,301	9,619	85.12%
9月	20,503	23,215	25,337		0	7,989	10,723	134.22%
10月	52,269	25,510	54,025	4,469	5,891	11,046	13,801	124.94%
11月	28,900	77,302	59,411	8,925	14,492	23,525	19,014	80.82%
12月	23,461	24,761	27,404	5,386	6,845	10,616	11,644	109.68%
1月	35,293	35,950	20,257	2,647	9,248	19,684	23,920	121.52%
2月	22,289	23,006	34,938	3,553	4,396	13,034	12,445	95.48%
3月	23,433	22,936	3,267	8,256	10,137	12,702	15,637	123.11%
計	316,056	344,639	332,962	33,236	81,067	147,107	159,090	108.15%
月平均	26,338	28,720	27,747	5,539	6,756	12,259	13,258	



### 3 観察対応表

観察日	観察者	人数	観察内容
5月25日	可児市立今渡南小学校(5年生4クラス)	120	施設見学
8月3日	香川県高松市議会議員	1	観察
8月3日	工学院大学建築学部建築デザイン学科	36	施設見学
8月25日	アクティオ(株) 大阪支店	2	観察
8月28日	サントリーパブリシティサービス(株)	4	観察
9月11日	琉球大学国際地域創造学部	16	観察
9月27日	可児市人事課(採用1年目職員)	26	施設見学
10月2日	可児市立南帷子小学校(3年生)	47	施設見学
10月5日	可児市立旭小学校(3年生)	58	施設見学
10月18日	香川県丸亀市議会市民会館整備特別委員会	13	観察
11月8日	埼玉県鴻巣市議会文教福祉常任委員会	8	観察
11月16日	長野県岡谷市議会	7	観察
11月22日	名古屋芸術大学	12	施設見学
11月29日	広見地区社会福祉協議会	30	施設見学
11月30日	帝京大学可児小学校(2年生)	38	施設見学
12月2日	大同大学工学部建築学科	12	施設見学
12月20日	サントリーパブリシティサービス(株)	3	施設見学
1月12日	瑞浪市総合文化センター	7	観察
1月29日	可児市立中部中学校・東明小学校家庭教育学級	13	施設見学
2月1日	公益財団法人焼津市振興公社	14	観察
2月8日	土岐市教育委員会生涯学習課	4	観察
3月7日	ぎふワールドローズガーデン	4	観察
合 计		475	

### III 令和 5 年度事業報告

## 1 令和5年度 事業一覧

### 【公益目的事業会計-鑑賞体験促進事業(自主事業-公演)】

事業名	会場	入場可能席数	集客数	集客率	収入額	支出額	収支比率	掲載頁
文学座公演「五十四の瞳」	小劇場	560	469	83.8%	※3,660,723	3,965,538	92.3%	15
古典落語とトークで味わう 風間杜夫の名人会	小劇場	297	297	100.0%	893,200	708,553	126.1%	16
佐渡裕&新日本フィルハーモニー交響楽団	主劇場	989	989	100.0%	※9,808,280	8,333,465	117.7%	17
ウィーン・フォルクスオーパー交響楽団 ニューイヤー・コンサート2024	主劇場	1,023	975	95.3%	※10,821,601	10,576,927	102.3%	18
かに寄席 納涼	主劇場	966	786	81.4%	2,428,300	1,987,362	122.2%	19
かに寄席 初席	主劇場	965	760	78.8%	2,304,500	1,763,797	130.7%	20
音楽の絵本 con tenerenza	主劇場	933	868	93.0%	1,290,400	1,994,607	64.7%	21
反田恭平プロデュース ジャパン・ナショナル・オーケストラ	主劇場	1,020	1,020	100.0%	※7,475,393	5,333,488	140.2%	22
上原彩子&神尾真由子 DUOリサイタル	主劇場	953	832	87.3%	3,224,500	2,250,150	143.3%	23
音楽がある朗読会 「あなたがいたから～わたしの越路吹雪～」	小劇場	261	259	99.2%	556,500	1,491,170	37.3%	24
東日本大震災復興支援 能登半島被災者支援 祈りのコンサート2024	主劇場	966	382	39.5%	373,000	373,000	100.0%	25
アーラ・キネマ俱楽部 アーラ映画祭2023	映像シアター	2,595	1,730	66.7%	1,624,400	2,247,238	72.3%	26
計		11,528	9,367	81.3%	44,460,797	41,025,295	108.4%	

### 【公益目的事業会計-まち元気・市民交流促進事業(自主事業-展示)】

事業名	会場	入場可能席数	集客数	集客率	収入額	支出額	収支比率	掲載頁
エイブル・アート展	美術ロフト	—	908	—	684,543	1,132,200	60.5%	29
計		—	908	—	684,543	1,132,200	60.5%	

### 【公益目的事業会計-まち元気・市民交流促進事業(自主事業)】

事業名	会場	入場可能席数	集客数	集客率	収入額	支出額	収支比率	掲載頁
シリーズ恋文 vol.13	小劇場	539	538	99.8%	※3,424,295	3,587,382	95.5%	30
ala Collection シリーズ vol.14 「フートボールの時間」可児公演	小劇場	1,311	947	72.2%	※18,634,833	25,667,460	72.6%	31
ala Collection シリーズ vol.14 「フートボールの時間」東京公演	吉祥寺シアター	1,080	860	79.6%	3,470,500	9,490,071	36.6%	32
ala Collection シリーズ vol.14 「フートボールの時間」地方公演	全国5会館	5,215	2,922	56.0%	※23,207,660	14,281,875	162.5%	33
歌舞伎とおしゃべりの会	映像シアター	386	264	68.4%	※591,170	681,810	86.7%	34
森山威男ジャズナイト2023	主劇場	907	594	65.5%	※4,155,432	4,408,210	94.3%	35
大型市民参加事業第13弾 オーケストラで踊ろう！「裁&判」	主劇場	1,480	1,077	72.8%	※13,087,831	13,632,163	96.0%	36
森山威男ドラム道場	音楽ロフト他	—	延べ245人	—	※2,292,052	2,475,548	92.6%	37
新日本フィルハーモニー交響楽団メンバーによるオープン・シアター・コンサート	主劇場	664	298	44.9%	※730,484	1,342,726	54.4%	38
親子de仲間づくりワークショップ	レセプションホール他	—	延べ485人	—	※1,113,351	2,206,427	50.5%	39
ココロとカラダの健康ひろば		—	延べ315人	—				
児童・生徒のためのココロとカラダワークショップ	市内小学校他	—	1,341	—	※3,172,841	3,656,673	86.8%	40
スマイルングワークショップ	総合会館他	—		—				
多文化共生プロジェクト2023	土田地区センター、演劇練習室	—	127	—	※444,455	948,204	46.9%	41
紙芝居一座支援	水と緑の広場他	—	参加者11人 観客82人	—	※143,267	32,616	439.3%	42

事業名	会場	入場可能席数	集客数	集客率	収入額	支出額	収支比率	掲載頁
劇場に関わる人のためのアーツマーケティングゼミ 「あーとま塾2023」	音楽口 フト他	—	83	—	※958,342	2,163,216	44.3%	43
社会的処方箋活動 アーラみんなのピアノプロジェクト	演劇練習室他	—	延べ384人	—	※1,366,439	1,874,854	72.9%	44
まち元気部	ala館内 他	—	延べ176人	—				45
まち元気センター養成講座	音楽口 フト他	—	延べ101人	—				46
まち元気そうだん室	創造スタッ フ室 他	—	延べ34人	—				47
可児常磐津教室 巴瑠の会 令和5年度おさらい会	小劇場	311	87	28.0%	0	2,992	0.0%	48
市民活動支援	—	—	—	—	※260,369	1,505,750	17.3%	—
第42回可児市美術展	アート、ギャ ラリー他	—	出展数258点 集客数1328人	—	2,510,500	2,354,362	106.6%	49
第31回可児市文芸祭	ギャラ リー他	—	応募点数 3483点	—	1,825,000	1,598,623	114.2%	50
可児市ジュニア音楽祭2023	主劇場	1019	910	89.3%	913,000	655,547	139.3%	51
文学座アウトドア 文学座俳優のキッズワークショップ	演劇練習室	—	延べ18人	—	※701,794	1,440,484	48.7%	52
文学座カフェ	ギャラ リー	—	13	—				53
ala劇場たいけんツア―	小劇場	—	延べ30人	—				54
おでかけ落語会	市内中学校・高校	—	973	—	※150,573	321,180	46.9%	55
おでかけAGライブ	市内中学校	—	411	—	※69,101	140,270	49.3%	56
みんなのディスコ2023	3ロフト	—	延べ436人	—	※167,522	301,427	55.6%	57
平田オリザの「対話を考える」モデル授業	レセプションホール	—	22	—	※68,143	151,020	45.1%	58
教職員対象ワークショップ	レセプションホール	—	35	—				—
まちが元気になる処方箋	映像シアター	91	43	47.3%	※81,927	135,100	60.6%	59
アーラ未来の演奏家プロジェクト2023	美術ロフト、市内小学校他	—	学校133人 その他242人	—	※282,759	559,129	50.6%	60
アーラ未来の演奏家コンサート2023	美術ロフト	80	51	63.8%				—
新日本フィル・カフェ	音楽ロフト	—	109	—	※496,985	874,094	56.9%	61
計	—	—	—	—	84,320,625	96,489,213	87.4%	—

【共催事業等】

事業名	会場	入場可能席数	集客数	集客率	収入額	支出額	収支比率	掲載頁
音楽家の集い	音楽ロフト	731	466	63.7%	50,865	98,930	51.4%	62
鼓童「いのちもやして」	主劇場	1,020	715	70.1%	517,680	7,898	6554.6%	63
ウィーンV.ルジェリウスピアノ三重奏団	小劇場	311	238	76.5%	53,400	38,935	137.2%	64
小林浩平の”FUN”TASTIC!	小劇場	295	295	100.0%	71,250	370	19256.8%	65
計		2,357	1,714	72.7%	693,195	146,133	474.4%	—

【公益目的事業会計-共通事業】

事業名	会場	入場可能席数	集客数	集客率	収入額	支出額	収支比率	掲載頁
広報宣伝事業	—	—	—	—	931,039	17,777,144	5.2%	66
事業制作共通事業	—	—	—	—	872,390	2,860,883	30.5%	—
計	—	—	—	—	1,803,429	20,638,027	8.7%	

【収益事業等会計-鑑賞体験促進事業(自主事業-公演)】

事業名	会場	入場可能席数	集客数	集客率	収入額	支出額	収支比率	掲載頁
マイ・ラスト・ソング ～久世さんが残してくれた歌～	主劇場	785	681	86.8%	2,964,996	2,256,217	131.4%	27
B E G I Nコンサート&一五一会世界大会	主劇場	956	956	100.0%	5,873,700	5,271,729	111.4%	28
計	—	1,741	1,637	94.0%	8,838,696	7,527,946	117.4%	

【施設管理・貸館事業会計】

事業名	会場	入場可能席数	集客数	集客率	収入額	支出額	収支比率	掲載頁
施設管理・貸館事業	—	—	—	—	36,777,127	245,382,935	15.0%	—
情報コーナー整備事業	—	—	—	—	0	340,833	0.0%	—
計	—	—	—	—	36,777,127	245,723,768	15.0%	

注) 公益法人会計のための事業への按分前の収支である。

【法人会計】

事業名	会場	入場可能席数	集客数	集客率	収入額	支出額	収支比率	掲載頁
財団運営管理事業	—	—	—	—	450,800,136	217,314,590	207.4%	—
文化芸術調査・研究事業	—	—	—	—	※499,839	116,060	430.7%	—
計	—	—	—	—	451,299,975	217,430,650	207.6%	

注) 公益法人会計のための事業への按分前の収支である。

合計	628,878,387	630,113,232	99.8%
----	-------------	-------------	-------

注) ※印の事業の収入には(独)日本芸術文化振興会助成金(51,975,000円)が含まれている。

## 2 鑑賞体験促進事業 事業報告

事 業 名

### 文学座公演 「五十四の瞳」

平成 20 年にアーラと「地域拠点契約」を結び、今年で 15 年目を迎える文学座の作品を気軽に鑑賞できる機会を提供する。

「可児市において、日本を代表する演劇カンパニーの一つである文学座の最新作に触れることができる」という希少性は、これまでの実績からも可児市民に広く理解されてきている。今回は鄭義信作、松本祐子演出による、傷つきながらも、たくましく生きるマイノリティたちの姿をコミカルに愛情を込めて描いた本作品を取り上げることで、マイノリティへの理解を深め、多様な価値観を育む場となることを目的とした。

集 客 数 469 人 席数 560 集客率 83.8% 会場 小劇場

開 催 日 時 令和 5 年 9 月 8 日（金）18 時 30 分開演  
9 日（土）14 時開演

チ ケ ッ ト 全席指定 一般 5,000 円 25 歳以下 2,500 円

出 演 者 たかお鷹、金沢映実、神野崇、頼経明子、松岡依都美、越塚学、杉宮匡紀、川合耀祐

市 民 参 加 フロントスタッフ (ala クルーズ)

戦後間もないころの瀬戸内海に浮かぶ小さな島の、占領軍（G H Q）による閉鎖を宣言された朝鮮人学校を題材にした演劇公演を実施した。

可児市出身で子どものころからアーラの市民参加事業に多数参加した後、文学座正座員となった若手俳優・川合耀祐がメインキャストとして起用されていた作品だったため、宣伝に活用し、当時の事業参加者や地元メディアを巻き込んで集客を図った。

作：鄭義信／演出：松本祐子

経 費 状 況 収入 3,660,723 円 支出 3,965,538 円 収益率 92.3%

- アンケート 結 果
- 名古屋をはじめとした愛知県内で上演されていない公演も観ることができ、楽しみにしています。今後とも魅力あるプログラムに期待致します！
  - 在日三世です。何の予備知識もなく本日の作品をみました。オール日本人の方のキャストでこの作品を作っていました。韓国語や細かな所まで韓国（在日）の人々の様子がとてもよく表現できていた、とても素晴らしかったです。
  - アフタートークも名古屋や岐阜県出身の演出家さんや俳優さんがとても身近に感じました。

成 果

可児市出身アーラ育ちの俳優・川合耀祐が主要キャストで出演していたため、宣伝段階から積極的に活用した。ケーブルテレビ可児からは密着取材を行なうなど、非常に積極的な取り上げ方をしてもらえた。公演には、かつて市民参加事業に共に参加した仲間たちが数多く集まり、可児市出身の俳優を応援しようという人たちによって売上は好調だった。公演当日のアフタートークも、両日川合に出席してもらい、温かい雰囲気の中、劇場内的一体感が高まった。ほかにも、かつて ala Collection に出演していた俳優もあり、文学座が「アーラ・可児の劇団」として受け入れられていることを実感できる公演だった。



---

事 業 名

## 古典落語とトークで味わう 風間杜夫の名人会

---

可児市民に質の高い舞台芸術の鑑賞の機会を提供することにより、可児市民の芸術活動目 的 を刺激し、可児市文化創造センターの利用者の発掘、鑑賞者の育成、芸術活動へのきっかけとなることを目的とする。

---

集 客 数 297 人 席数 297 集客率 100.0% 会場 小劇場

---

開 催 日 時 令和 6 年 3 月 23 日 (土) 14 時開演

---

チ ケ ッ ト 全席指定 一般 3,500 円 25 歳以下 1,750 円

---

出 演 者 風間杜夫、柳家花緑 (ゲスト)、麻生知紗 (トーク司会)

---

市 民 参 加 フロントスタッフ (ala クルーズ)

---

「名人会」としては第 2 回目。

ゲストに柳家花緑を迎えて、俳優の風間杜夫による落語会を開催した。

事 業 内 容 【スペシャルトークショー】(風間杜夫、柳家花緑、麻生知紗)

【落語】柳家花緑「竹の水仙」

風間杜夫「化け物使い」

---

経 費 状 況 収入 893,200 円 支出 708,553 円 収益率 126.1%

---

アンケート 結 果

- ・トークショー、落語のいずれも楽しませて頂きました。また来年観に来たいです。
- ・一度は見たいと思っていました。お昼の時間帯だったので、参加しやすかったです。大変おもしろく、参加して良かったです。
- ・解説やトークもついた落語会はとても興味深いのでぜひ開催してください。

---

成 果 「名人会」に変わってからの 2 回目。公演時間を昼帯に移し、ゲストが人気落語家の柳家花緑ということもあって、集客は好調に推移し、公演当日朝に完売した。東京の落語界ではコロナ禍以降、前座の人員不足が続いている状況ということをゲストより聞き、今回は前座なしとした。結果として、トーク、高座ともにたっぷりと時間を取ることができ、予定終了時間を超過したが、満足度は高い公演となった。

---



事業名

## 佐渡裕&新日本フィルハーモニー交響楽団

目的  
日本を代表するオーケストラの一つであり、アーラと地域拠点契約を結んでいる新日本  
フィルハーモニー交響楽団のコンサートを開催することにより、市民が本格的クラシック  
に触れる機会を提供する。継続して新日本フィルによるコンサートを行うことで、新日本  
フィルというオーケストラ自体も身近な存在として親しみを持ってもらう。

集客数 989人 席数 989 集客率 100.0% 会場 主劇場

開催日時 令和5年4月9日（日）16時開演

チケット 全席指定 一般 7,000円 25歳以下 3,500円

指揮：佐渡裕

出演者 管弦楽：新日本フィルハーモニー交響楽団  
ピアノ：及川浩治

市民参加 フロントスタッフ（ala クルーズ）

### 【本公演】

グリンカ：歌劇「ルスランとリュドミラ」  
ラフマニノフ：パガニーニの主題による狂詩曲  
ベートーヴェン：交響曲第7番 イ長調 作品92

### 【アンコール】

事業内容 (ソリスト) ショパン：夜想曲 第20番 嬰ハ短調  
(オーケストラ) ドヴォルザーク：スラヴ舞曲集 第1集 作品46 第8番

### 【関連企画】

リハーサル見学&デザートセット

普段見ることができないオーケストラのリハーサルを見学後、じゃばんサンドイッチ特製のデザートとコーヒーを提供した。

経費状況 収入 9,808,280円 支出 8,333,465円 収益率 117.7%

アンケート結果  
・佐渡さん×新日本フィル、圧巻の演奏でした。及川さんのピアノも素晴らしかったです。また行きたいと、思わせる演奏会でした。

・コロナでずっと我慢していました。久々のコンサートが今日でよかったです。素晴らしい演奏をありがとうございました。音楽が聴ける喜びを改めて感じました。  
・佐渡さんがご挨拶や曲の説明をしてくださり堅苦しくないリラックスした気持ちで楽しめました。夢のような胸躍る、あっという間の2時間でした。

成 果  
チケットが完売となり、新日本フィルの公演としては例年ない入場者数を記録した。公演の満足度も94%と非常に高く好評裡に終了することができた。ひとえに新しく新日本フィルの音楽監督に就任した佐渡裕氏の人気の高さによるものであり、来場された方の期待に応える公演だった。



事業名

## ウィーン・フォルクスオーパー交響楽団 ニューイヤー・コンサート 2024

目的 可児市民に質の高い舞台芸術の鑑賞の機会を提供することにより、可児市民の芸術活動を刺激し、可児市文化創造センター利用者の発掘、鑑賞者の育成、芸術活動へのきっかけとなることを目的とする。

集客数 975人 席数 1,023 集客率 95.3% 会場 主劇場

開催日時 令和6年1月8日（月・祝）14時開演

チケット 全席指定 一般 8,000円 25歳以下 4,000円

指揮：グイド・マンクージ

出演者 管弦楽：ウィーン・フォルクスオーパー交響楽団  
ソプラノ：ベアーテ・リッター テノール：メルツァード・モンタゼーリ  
バレエ：バレエ・アンサンブル SOVOP ウィーン

市民参加 フロントスタッフ (ala クルーズ)

### 【プログラム】

スッペ：オペレッタ『美しきガラテア』序曲／カールマン：オペレッタ『サーカスの女王』より「再び輝く光の中へ」／ヨハン・シュトラウスⅡ：ワルツ『もろびと手をとり』作品443／ドスター：オペレッタ『クリヴィア』より「私は恋している」／エドゥアルト・シュトラウス：ポルカ・シュネル『人が笑い生きるところ』作品108／ヨーゼフ・シュトラウス：ポルカ・マズルカ『パンジー』作品183／ヨハン・シュトラウスⅡ：オペレッタ『ジプシー男爵』より「誰が僕たちを結婚させたのか」／マンクージ：ワルツ『スタイル&エレガンス』／ヨハン・シュトラウスⅡ：行進曲『我らの旗のひらめくところ』作品473／ミレッカー：オペレッタ『哀れなヨナタン』より「私たちは気の毒なプリマドンナ」／ヨーゼフ・シュトラウス：ポルカ・シュネル『短いことづて』／ヨハン・シュトラウスⅡ：オペレッタ『ヴェネツィアの一夜』より「誠実でいるなんて 趣味じゃない」／マンクージ：『新幹線ポルカ』／レハール：オペレッタ『パガニーニ』より「私ほどあなたを愛した人はいない」／ヨハン・シュトラウスⅡ：ワルツ『美しく青きドナウ』作品314  
開演前にロビーコンサートを実施した。

事業内容

経費状況 収入 10,821,601円 支出 10,576,927円 収益率 102.3%

アンケート結果

- ・質の高い本物の芸術を地方にいても楽しむことができるというのは実に有り難いことです。アーラの近くに住んでいる幸運を感謝しています。
- ・指揮者が日本語を練習して、曲の紹介等されたことにとても驚きました。素敵な方ですね。新年にふさわしい華やかなコンサートでした。
- ・開演前のロビーコンサートがとてもよかったです。得した気分でした。

成 果

ビフォア・パーティーに代わってロビーでプレ・コンサートを実施したが、オーストリアの民族衣装を着た出演者5名がウィーンゆかりの音楽を演奏し、開場前に集まった大勢のお客様に喜んでもらうことができた。

コンサートは例年以上の人が訪れ、客席も満席近くとなつた。指揮者は日本語のスピーチを交えながら、ウィンナ・ワルツや自作の曲を指揮し、オーケストラの曲以外にもオペレッタの名アリアやバレエなど盛り沢山な内容で、来場者にも満足してもらえたようだつた。



事業名

## かに寄席 納涼

目的 「楽しむ」をテーマとし、若者からお年寄りまで幅広く人気を集める落語を公演し、来場者に大いに笑いを楽しんで頂く。  
また、『納涼』『初席』と2回開催し、恒例行事化することで、可児市やアーラへの親しみ、季節感が感じられる催しを目指す。

集客数 786人 席数 966 集客率 81.4% 会場 主劇場

開催日時 令和5年8月19日（土）14時開演

チケット 全席指定 一般 4,000円 25歳以下 2,000円

出演者 林家たい平、桃月庵白酒、柳家わさび、春風亭かけ橋、桃月庵ほんぽり（前座）

市民参加 フロントスタッフ（ala クルーズ）

### 【番組】

桃月庵ほんぽり（前座）：子ほめ

春風亭かけ橋：馬大家

桃月庵白酒：青菜

事業内容 柳家わさび：団子坂奇談

林家たい平：今様代り目

### 【関連企画】

ホワイエにのぼりを設置、浴衣での来場者に記念品進呈、アンケート回答者に抽選で出演者サイングッズをプレゼント

経費状況 収入 2,428,300円 支出 1,987,362円 収益率 122.2%

アンケート結果  
・コロナで途絶えましたが7～8年前から演劇まるごとパッケージチケットと、かに寄席2回を購入してアーラで幸せな時間を過ごさせてもらっています。近くにこんなステキな劇場があり企画も素晴らしいで嬉しく思っています。  
・夏、冬の寄席を毎回楽しみにしています。  
・初めて生で寄席を見てとてもよかったです。沢山笑いました。アーラでは色々なジャンルの公演をしてくださるので楽しみです。

成績  
・テレビでの知名度も比較的高いたい平出演の効果もあり、集客率は81.4%と完売に近い数字となった。「おでかけ落語」をきっかけに、あしながおじさんチケットを利用して来場した中学生もあり、可児の落語公演の新規客層の可能性を感じられる。

リピーターが多いことがアンケートでも

散見される一方で、知名度の高い落語家の

出演をきっかけに「かに寄席」の存在を知った来場者もいた。

人気落語家のキャスティングや学校アウトリーチは予算面などで懸念事項はあるものの、定例的な公演となりつつある、かに寄席やアーラのファン層を増やすことにもつながるのではと考えている。



事業名

## かに寄席 初席

目的 「楽しむ」をテーマとし、若者からお年寄りまで幅広く人気を集める落語を公演し、来場者に大いに笑いを楽しんで頂く。  
また、『納涼』『初席』と2回開催し、恒例行事化することで、可児市やアーラへの親しみ、季節感が感じられる催しを目指す。

集客数 760人 席数 965 集客率 78.8% 会場 主劇場

開催日時 令和6年1月13日（土）14時開演

チケット 全席指定 一般 4,000円 25歳以下 2,000円

出演者 入船亭扇遊、桂米團治、柳家喬太郎、三遊亭兼好、入船亭扇ぱい（前座）

市民参加 フロントスタッフ（ala クルーズ）

### 【番組】

入船亭扇ぱい（前座）：たらちめ

柳家喬太郎：擬宝珠

桂米團治：七段目

事業内容 三遊亭兼好：のめる  
入船亭扇遊：試し酒

### 【関連企画】

ホワイエにのぼりを設置、着物での来場者に記念品進呈、アンケート回答者に抽選で出演者サイングッズプレゼント、東濃実業高校箏曲部による、琴のロビーコンサート

経費状況 収入 2,304,500円 支出 1,763,797円 収益率 130.7%

アンケート結果

- 市内に転居して初めて利用させてもらいました。かに寄席、初笑い、楽しい時間でした。アーラは会場が広くてきれいであたたかくて、いいですね。開場前の時間を使って、高校生によるお琴の演奏もよかったです。
- 人が触れ合い、対話することで生まれる笑い。クスッと笑える嬉しさをかみしめています。皆さん滑舌よく元気なお声で元気を頂きました。楽しい演目続きで面白かったです。明日からも私なりに頑張ろうと思います。寄席納涼、初席とも次回を楽しみにしています。

成 果

納涼から続いて、誕生日の出演者がおり、来場者同様にバースデーカードとバラのプレゼントを館長から渡したところ、リハーサル中に客席へ設置されたカードとバラを見た出演陣から、取組へのお褒めの言葉を頂いたうえに、SNSでも発信していただけた。劇場としての取組を、出演側から発信してもらえる貴重な機会となった。



事業名

## 音楽の絵本 con tenerezza

目的 0歳から楽しめるクラシックコンサートで、親子が対等な立場でコンサートを楽しむことが目的。このコンサートの体験が、豊かな親子コミュニケーションを発展させていくきっかけとなることを目指す。

集客数 868人 席数 933 集客率 93.0% 会場 主劇場

開催日時 令和5年5月14日（日）13時30分開演

チケット 全席指定 1,500円

出演者 ズーラシアンプラス（金管五重奏）、クラリキヤット（クラリネット四重奏）、弦うさぎ（ピアノ）

市民参加 フロントスタッフ（ala クルーズ）

親子で楽しめる本格的なクラシックコンサートを「母の日」に開催した。

### 【プログラム】

【第一部】猫踏んじゃった幻想曲／ネコ踏んじゃムード／歌劇「ムラーダ」より『貴族たちの行列』／クラリネットこわしちゃった／おんまはみんな／春の日の花と輝く

【第二部】お花メドレー／アロハオエ／おつかいあります／むすんでひらいて／ストラパンパ

母の日のプレゼント用として、終演後に中学生以下の子どもを対象にカーネーションを配布した。

経費状況 収入 1,290,400円 支出 1,994,607円 収益率 64.7%

・演奏者お見送りがあって、大好きなトランペッター二人にぎゅーしてもらっている3歳の息子が本当に嬉しそうで、その様子がとても幸せでした。

・（子）また、ズーラシアンプラスをみたい。（母）毎年母の日の公演を楽しみにしています。カーネーションもありがとうございます。

アンケート結果 ④ 子どもも楽しめるよう動物のかぶりものをして、うちの子も周りの子も小さい子もとても喜んでいました。そして、音楽のレベルの高さ！トランペットの響きさすがです！身边に音楽に触れることができて幸せです。子どもが楽しめる要素がたくさんありました。ありがとうございました。

成 果 コロナ禍の制限が緩和され、ほぼ以前と同じ公演を行うことが出来るようになった最初の事業となった。券売は結果的には9割を超える大入りとなった。編成とプログラムは昨年と変え、童謡や子どもにもなじみのある曲が多かったためか、客席の反応はとても良かつた。撮影、握手会は、予想以上の大盛況となつたが、懸念されたトラブルなどは無かった。樂団からは「可児では10年以上毎年公演を開催することで育まれた観客との信頼関係がある。コロナ禍後初めての公演が可児で良かった。安心して色々なことができた」という意見をもらった。まだ完全に終息したわけではないが、実演者、観客、劇場、皆がコロナ禍という大きな試練を乗り越えたことを実感できた事業だった。



事 業 名

## 反田恭平プロデュース ジャパン・ナショナル・オーケストラ

目 的 可児市民に質の高い舞台芸術の鑑賞の機会を提供することにより、可児市民の芸術活動を刺激し、可児市文化創造センター利用者の発掘、鑑賞者の育成、芸術活動へのきっかけとなることを目的とする

集 客 数 1,020 人 席数 1,020 集客率 100.0% 会場 主劇場

開 催 日 時 令和5年8月28日（月）18時30分開演

チ ケ ッ ト 全席指定 一般 6,000 円 25歳以下 3,000 円

出 演 者 反田恭平（指揮、ピアノ）、水野優也（チェロ）、ジャパン・ナショナル・オーケストラ

市 民 参 加 フロントスタッフ（ala クルーズ）

人気・実力を兼ね備える若手ピアニスト、反田恭平が率いるオーケストラ「ジャパン・ナショナル・オーケストラ」による演奏会を実施した。

### 【プログラム】

- ・チャイコフスキー：ロココの主題による変奏曲 イ長調 作品33
- ・モーツアルト：交響曲第40番 ト短調 K.550
- ・モーツアルト：ピアノ協奏曲第15番 変ロ長調 K.450

### 【アンコール】

（ソリストアンコール）

バリエール：2本のチェロのためのソナタ ト長調 より 第3楽章

終演後にオーケストラメンバーによるサイン会を実施し、来場者と交流を深めた。

経 費 状 況 収入 7,475,393 円 支出 5,333,488 円 収益率 140.2%

・自分と同年代の皆さんの演奏に大変刺激を受けました。とても楽しかったです。水野さんのCDを購入しましたが、こちらも演奏が素晴らしいかったです。そして初めて伺うホールでしたが、とても素敵なお響きで来て良かったと感じました。ありがとうございました。

アンケート  
結 果

- ・主要都市で公演されるジャパンナショナルオーケストラの公演がアーラで聴くことができるは素晴らしいことです。ありがとうございます。
- ・反田さんのピアノが聴けたのはとても貴重でした。ショパンも聴きたかったです。素人でも楽しめるこのようなコンサートの開催はとても嬉しいです。

成 果

反田のショパン国際コンクール入賞のブームも冷めやらずチケットは完売し、満員の会場となった。ソリストとしてだけでなく、オーケストラメンバーがソリストを務める曲や交響曲を指揮するなど多彩なプログラムで観客を魅了した。アンケートでも90%以上の人方が「大変良い・良い」と回答しており、公演の満足度の高さがうかがわれる。市外や若い来場者の比率も普段の公演と比べ高かったことから、新たな顧客の獲得につながる公演だった。



事業名

## 上原彩子&神尾真由子 DUOリサイタル

目的 岐阜県出身で平成14年にチャイコフスキー国際コンクール ピアノ部門で日本人として初めて優勝したピアニスト・上原彩子と、同じくチャイコフスキー国際コンクール ヴァイオリン部門で優勝した神尾真由子とのデュオ・リサイタルを開催し、クラシック音楽に親しんでいただく機会を提供する。

集客数 832人 席数 953 集客率 87.3% 会場 主劇場

開催日時 令和5年10月29日（日）14時開演

チケット 全席指定 一般 5,000円 25歳以下 2,500円

出演者 上原彩子（ピアノ）、神尾真由子（ヴァイオリン）

市民参加 フロントスタッフ（ala クルーズ）

チャイコフスキー国際コンクールで優勝した上原彩子と神尾真由子によるデュオ・リサイタルを開催した。

### 【プログラム】

事業内容 チャイコフスキー：懐かしい土地の想い出 作品42

1.瞑想曲 2.スケルツォ 3.メロディ

チャイコフスキー：ワルツ・スケルツォ 作品34

ラフマニノフ：ピアノ・ソナタ第2番 変ロ短調 作品36（ピアノ・ソロ）

プロコフィエフ：ヴァイオリン・ソナタ第1番 ヘ短調 作品80

経費状況 収入 3,224,500円 支出 2,250,150円 収益率 143.3%

- アンケート結果
- ・またお二人でアーラに来て欲しいです。
  - ・今回のデュオ、又企画して欲しいです。アーラさんはいつも良い演奏会が多く、楽しみにしております。
  - ・ヴァイオリン、ピアノともに素晴らしかったです。ピアノ、ソロは感動しました。
  - ・素敵なおふたりの演奏、とてもすばらしかったです。ぜひまた来年も聴かせていただけるとうれしいです。

成 果

ソロでも人気の演奏家二人の、初の共演をアーラで実現とあって、注目度、満足度ともに高い公演となった。特に上原彩子は前年の演奏予定が新型コロナウイルス感染によって中止となっていたため、待ち望むファンが多く集まったように見えた。今回の共演も、これまでのアーラとの関係性の上で実現であり、以降に他館でもこのデュオリサイタルが決定したとの知らせもあった。アーラの公演事業が、新しい音楽的価値の創造に寄与したといえる。



事業名

## 音楽がある朗読会 「あなたがいたから～わたしの越路吹雪～」

目的的 作詞家、詩人、翻訳家として数々の名曲を世に遺した岩谷時子の物語を市毛良枝による朗読と音楽で綴る朗読公演。令和4年度ala Collectionシリーズvol.13「百日紅、午後四時」の主演を務め、可児市民にも認知度の高い市毛良枝の朗読公演を実施することで、朗読の魅力を伝えると共に、演劇ファンの拡大に寄与するものとする。

集客数 259人 席数 261 集客率 99.2% 会場 小劇場

開催日時 令和6年2月10日（土）14時開演

チケット 全席指定 一般 3,000円 25歳以下 1,500円

出演者 市毛良枝（朗読）、滝澤みのり（ピアノ）、渡邊雅弦（チェロ）

市民参加 フロントスタッフ（ala クルーズ）

事業内容 作詞家の岩谷時子と昭和の大スター越路吹雪の友情物語を主軸に、戦前、戦中、戦後とふたりの出会いから死に至るまでの変遷を、その時々に流行った数々の名曲をピアノとチェロによる生演奏で散りばめながら市毛良枝がふたりを演じる朗読劇。才能に溢れ情熱的で自由奔放な越路吹雪ともう一方では上品で控えめで楚々とした岩谷時子のコインの表と裏のような二人の相反するキャラクター性を市毛が見事に演じ分け、観客を魅了した。

経費状況 収入 556,500円 支出 1,491,170円 収益率 37.3%

アンケート結果

- ・市毛さんに会いに来ました。良い時間をありがとうございました。
- ・音楽のある朗読会、とってもいいです。いろいろな顔の市毛良枝さんがみれて、最高！！
- ・すてきです。引き込まれてしまいました。音楽もステキ！！

成 果 効果

劇中では越路吹雪のヒット曲で誰もが知っている「愛の讃歌」や「サン・トワ・マミー」「ろくでなし」「ラストダンスは私に」など、二人の歩みの中で生み出された名曲群がピアノとチェロのアンサンブルによって次々と演奏され、当時の華やかな雰囲気までも伝えた贅沢さが物語に豊かさと彩りを与えた。その結果アンケート満足度では「大変良い」「良い」84%を達成した。また集客率においても作品のテーマ性と市毛氏の知名度が可児市民にマッチしたことで、99%を達成した。



事 業 名

**東日本大震災復興支援 能登半島地震被災者支援  
祈りのコンサート 2024  
～被災地へ届け、私たちは忘れない～**

目 的 東日本大震災被災地の長く、そして困難な復興への応援として“アーラとしてできることは何か”を考え、震災の記憶を風化させないよう、多くの犠牲になられた方々の鎮魂と、被災者的心の復興に寄与するコンサートを開催する。

集 客 数 382 人 席数 966 集客率 39.5% 会場 主劇場

開 催 日 時 令和 6 年 3 月 10 日（日）14 時開演

チ ケ ッ ト 全席指定 1,000 円

出 演 者 居福健太郎（ピアノ）、三浦明子（ヴァイオリン）、サミュエル・エリクソン（チェロ）、佐野秀典（ナビゲーター）

市 民 参 加 フロントスタッフ（ala クルーズ）

公演に関する印刷物や舞台装飾などは各企業の協賛により実施し、開場、休憩、終演後には募金活動を行った。合わせて 1 月 1 日に発生した能登半島地震を受けて寄附先に能登演劇堂と Ten seeds を加え、ホワイエで能登演劇堂と Ten seeds に関する展示を行った。

【募金の寄託先】

気仙沼地域傾聴ボランティア「こもれびの会」、陸前高田市傾聴ボランティア「ここものもり」、公益社団法人宮城県精神保健福祉協会みやぎ心のケアセンター、能登演劇堂【プログラム】

J.S. バッハ：G 線上のアリア（管弦楽組曲 第 3 番 ニ長調 BWV1068 より II. エア）

メンデルスゾーン：ピアノ三重奏曲 第 2 番 ハ短調 作品 66、J.S. バッハ：主よ、人の望みの喜びよ

コダーリ：ヴァイオリンとチェロのための二重奏曲 作品 7 より 第 1 楽章、ショパン：舟歌 嬁へ長調 作品 60

ブームス：ハンガリー舞曲 第 1 番、第 5 番

【アンコール】

「利家とまつ」メインテーマ、君といた夏、翼をください

【協賛】

株式会社カラビナ、株式会社松栄堂楽器 可児店、株式会社トイ・ファーム、株式会社ワンズ・プランニング、岐阜県舞台設備管理事業組合、じゃぱん S A N D W I C H 、ハーモニーワークス、ホテルルートイン可児、丸理印刷株式会社

経 費 状 況 収入 373,000 円 支出 373,000 円 収益率 100.0%

アンケート 結 果

- 各地で自然災害が多く起こっています。これからを背負っていく方が犠牲になっているのを見ると本当に心が痛みます。1年に1度、祈りのコンサートに参加して、忘れてはいけないとあらためて思っています。企画していただいてありがとうございます。
- 今後も継続して開催して頂きたい。楽しみにしております。
- 震災を忘れないようにしていきたいです。

成 果

1 月 1 日に能登半島地震が発生し、震災に対する意識も高かったことから、入場者数は昨年度とほぼ同数となった。今回寄附先に能登演劇堂と Ten seeds も加えたことにより、寄附金の額が昨年度と比較して大幅に増加した。コンサートは新日本フィルや「未来の演奏家プロジェクト」「君といた夏」のメンバーが出演したことにより、観客との間に親近感が生まれ、公演の満足度も 96% と非常に高いものとなった。被災者や震災の記憶を忘れないという意味からもこのコンサートが非常に意義のあるものとなった。



事業名

## アーラ・キネマ俱楽部 アーラ映画祭 2023

目的的 映画館のない可児において、多様な映画鑑賞機会を提供し、映画を通した人のつながりをつくる。映画を通して多様な人が交流し、新しい価値に出会えるコミュニティを形成する。

集客数 1,730人 席数 2,595 集客率 66.7% 会場 映像シアター

開催日時 通年（事業内容参照）

チケット 無料～900円

市民参加 市民有志による実行委員

【アーラ・キネマ俱楽部】全席指定 900円 25歳以下450円

最近の映画祭での受賞等で芸術性があり、かつ集客力を兼ねる映画（邦画・洋画）、もしくは話題性のあるドキュメンタリーを上映し、監督や関係者のトークショーなど、ゲストとお客様と実行委員が交流できる場を提供した。

5月 21日（日）、22日（月）「ブータン山の教室」

7月 30日（日）、31日（月）「カモンカモン」

1月 21日（日）、22日（月）「丘の上の本屋さん」1/21の上映後、アフタートークと意見交換会を実施した。ゲスト：古池弘幸（書店店主） ゲストの書店による書籍販売コーナーも設けた。

3月 24日（日）、25日（月）「チョコレートな人々」3/24の上映後、アフタートークと意見交換会を実施した。ゲスト：鈴木祐司（監督）、中根芳樹（カメラマン）

【名作上映会】全席指定 500円

事業内容

文化庁優秀映画鑑賞事業を実施した。

10月 27日（金）「浪華悲歌」「西鶴一代女」 10月 28日（土）「風の中の子供」「蜂の巣の子供たち」

【アーラ映画祭】全席指定 900円 25歳以下450円

・近年の話題性のある邦画を上映し、監督や関係者のトークショーや、映画雑談会や関連企画など、ゲストとお客様や実行委員が交流できる場を提供した。

12月 8日（金）「P L A N 75」（2回上映）1回目の上映後にアフタートーク ゲスト：早川千絵（監督）を実施した。

「ひみつのなっちゃん」

12月 9日（土）「さかなのこ」（2回上映）「ケイコ 目を澄ませて」

12月 10日（日）「マイスマールランド」 上映後にアフタートーク ゲスト：川和田恵麻（監督）を実施した。

「劇場版 荒野に希望の灯をともす」

経費状況

収入 1,624,400円 支出 2,247,238円 収益率 72.3%

アンケート  
結果

・マイスマールランド、非常に良かったです。外国籍の方々の多いこの地域で生きてきたからこそ、考えさせられました。今回は1作品しか観られませんでしたが、他の作品も観てみたかったものばかりです。また来たいと思います。ありがとうございました。アフタートークも貴重なお話をけて良かったです。

・丘の上の本屋さん、とってもステキな本屋さんでした。少年に渡した本が「世界人権～」に涙が出ました。終了後の話は建築屋さんらしく、家のリフォームの話が詳しかったけれど、もっと本屋さんの話がきたかったです。本の仕入れ等。お店でお会いする時と全く雰囲気が違うんですね。

成 果

関連企画や映画雑談会を開催することで、コミュニティ形成のための、映画鑑賞だけで終わらないお客様と実行委員の交流の場を作ることができた。聴覚障がい者も鑑賞できるバリアフリー日本語字幕付き上映を実施し、多様な人が鑑賞できる機会をつくった。



## 事業名

**マイ・ラスト・ソング  
～久世さんが残してくれた歌～**

**目的** 地域のニーズの高い著名な俳優が出演する朗読公演を実施することで、新規顧客の獲得を目指す。

集客数	681人	席数	785	集客率	86.8%	会場	主劇場
-----	------	----	-----	-----	-------	----	-----

開催日時	令和5年6月4日（日）15時開演
------	------------------

チケット	全席指定 一般 5,000円 25才以下 2,500円
------	-----------------------------

出演者	小泉今日子（朗読）、浜田真理子（唄・ピアノ）、Marino（サックス）
-----	-------------------------------------

市民参加	フロントスタッフ（ala クルーズ）
------	--------------------

「死の間際に、一曲だけ聴くことができるしたら、あなたはどんな歌を選ぶだろうか。」

演出家として「時間ですよ」「寺内貴太郎一家」「ムー」など数々の名作ドラマを送り出し、文筆家としても活動していた久世光彦による、人生の最期の刻に聞きたい唄をテーマに14年間書き続けたエッセイ『マイ・ラスト・ソング』を小泉今日子の朗読、浜田真理子のピアノと唄で受け継ぎ伝える。懐かしい昭和の名曲、久世光彦が綴った歌への思いが語られた。

**事業内容** 【使用曲】みんな夢の中／朧月夜／おもいでのアルバム／世迷い言／お化けのロック／爪／学生街の喫茶店／プカプカ／港が見える丘／街の灯り  
【アンコール】東京ドドンパ娘／UFO  
テキスト：久世光彦  
構成：佐藤利明  
演出：佐藤剛

経費状況	収入 2,964,996円	支出 2,256,217円	収益率 131.4%
------	---------------	---------------	------------

・ホールは県外に自慢できる。ボランティアスタッフの支えがすばらしい。こんないい企画をこれからも期待しています。感謝！

・可児にいながら、素晴らしいコンサートを観ることができとても幸せです。ありがとうございました。

・楽しいおしゃべりと朗読、ピアノと歌、そしてサックス。とても楽しかったです。

・初めて来ました。素敵な施設だと思います。誕生月に来館したので、可児市のお花の薔薇とバースデーカードが座席に置いてありました。お洒落なサプライズでした。ありがとうございます。

**成 果** 販売開始時は未だコロナ禍という事もあり、初動が伸び悩んだものの、最終的には当初予定を上回る集客ができた。ターゲット年齢層が若干高めの公演だったが、新規顧客の開拓にも結び付けることができた。また、小泉自身も地方での新たな活動を模索しており、今後の継続的な連携にも可能性を見出せた。加えて、公演のきっかけとなった「マイ・ラスト・ソング岐阜公演を応援する会」、そこを通じて協力（舞台道具提供）することになった万寿実家具などのように、可児で活動する人々との連携の新たな展望も見えた。



事業名

## BEGINコンサート&第4回一五一会世界大会

可児市民が求めるミュージシャンを呼び、可児でポップスコンサートを楽しむ機会を提供する。また、ヤイリギターのある街可児市をPRし、文化の息吹が感じられる地域づくりを行う。

集客数 956人 席数 956 集客率 100.0% 会場 主劇場

開催日時 令和5年10月8日（日）15時開演

チケット 全席指定 一般 7,000円 25歳以下 3,500円

出演者 BEGIN、一五一会世界大会出場者

市民参加 フロントスタッフ（ala クルーズ）

前年度に引き続いで、デビュー33周年を迎えたBEGINが届ける、誰もが知る名曲から最新曲まで、心があたたかくなるステージ。

事業内容 ヤイリギターとBEGINが共同で開発した四弦楽器「一五一会」を愛用するアーティスト22組によるコンサートと、BEGINによるコンサートの二部構成として行うことで、大勢の方に一五一会の魅力をPRし鑑賞を促した。関連企画として、一五一会のワークショップなどを実施した。ホワイエにはヤイリギターのブースを展開した。

経費状況 収入 5,873,700円 支出 5,271,700円 収益率 111.4%

アンケート結果

- ・BEGINと可児市のヤイリギターさんのつながりで、ステキなライブを鑑賞でき、元気をいただきました。一五一会世界大会の司会をBEGINの比嘉さんがしてくれたおかげで、楽しい時間となりました。
- ・一五一会があんなに演奏の表現があって、とても楽しめました。長いライブだったため疲れてしまったところもありますが、BEGINのコンサートはそれをふっとばす最高のライブでした。沖縄の風を感じました。

成 果

市やヤイリギター、ケーブルテレビ可児の協力で、可児市内および全国に一五一会の魅力を伝えることができ、市のシティプロモーションという目的も果たすことができた。また一五一会は高齢者の生きがいづくりや、指を動かすことでの認知症予防も期待でき、今後も市と連携して、一五一会に関するイベントを展開していきたい。ただ、一五一会世界大会の出場者が多く、長いコンサートとなってしまった。今後は、お客様の満足感を高める構成にしていきたい。



### 3 まち元気・市民交流促進事業 事業報告

事 業 名

#### エイブル・アート展 — 動物大図鑑 —

目的  
テーマに沿って選ばれた全国の障がいを持つアーティスト達による、魅力的なアート作品を展示了。ありのままの個性をキャンバスに描き出した唯一無二の世界を提示することで、見る人に感動を与え、障がい者への理解を深めると共に、多様性のあるまちづくりに寄与するものとする。

集 客 数 908 人 席数 - 集客率 - 会場 美術ロフト

開 催 日 時 令和5年7月15日（土）～23日（日）10時～19時 ※休館日除く

チ ケ ッ ト 入場無料

15年目の開催となった。

障がいのある人の可能性（エイブル=able）に注目した展覧会を実施した。

また、市内支援学級の児童・生徒の作品も展示することで、アートの楽しさを身近に感じてもらう機会とする。

事 業 内 容 【関連企画】

その1：作家・中村真由美さんによる公開制作

その2：ala × TASC ぎふ連携 みんなのオープンアトリエ

その3：ala × TASC ぎふ連携 いろんなみんなのアート展

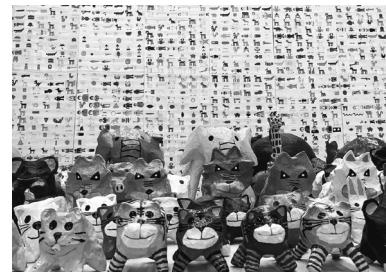
会場入り口にてエイブル・アートグッズを扱うミュージアムショップを営業した。

経 費 状 況 収入 684,543 円 支出 1,132,200 円 収益率 60.5%

- アンケート  
結 果
- 「発達障がいあるあるカルタ」是非、製品化されるといいなと思いました。絵も言葉もセンスあります。感心しました。
  - とにかくすてきでした！！すごく引き込まれる感性。絵が好きなのでとても心を動かされました！！ありがとうございました。
  - たいへん良い作品が多く、今後も来てみたいです。可児市の小中学生の作品もよいと思いました。

成 果

今回で15回目となり、一定程度は定着している。今回は動物をテーマにしたことで、その分かり易さからか、一般の方にも伝わりやすい内容で、例年に比べて総入場者数826人と大きく上回った。またオープンアトリエでは82人の参加者が集まり、前回の人数を大きく上回った。特に子ども連れの親子の参加が多く、普段家ではできない大きな紙に全身を使って自由に描けるこの場が子ども達にとって貴重な体験の場として高いニーズがあることが分かった。地元で活動している「ごちゃまぜあーとの会」のメンバーが当日の会場を仕切り、子どもたちの絵を描くサポートを実施した。特別支援学級の出展した子どもが家族と一緒に来ており、思い出深い機会となっていた。中でも目を引いていたカルタの作家が高知から会場に駆けつけ、新聞社の取材なども受け、本公演のPRはもちろん、カルタを全国の書店で販売するクラウドファンディングのPRにも貢献した。公開制作では多くの来場者に作家の制作風景を生で見ていただき、貴重な機会を提供した。



事業名

## シリーズ恋文 vol.13

目的的 恋人、夫、妻、母親などにむけて“普通の人々”が綴った心打つ手紙の朗読を通じて、人間同士の「絆」を多くの方に再認識して頂くことを目的とする。恋文という身近な題材を用い、また地元音楽家出演により演劇公演に馴染みのない方でも 共感しながら鑑賞できる内容とし、地域における演劇鑑賞者の基盤づくりに寄与するものとする。

集客数 538人 席数 539 集客率 99.8% 会場 小劇場

開催日時 令和5年11月25日（土）、26日（日）共に14時開演

チケット 全席指定 一般 4,000円 25歳以下 2,000円

出演者 中村雅俊、真野響子、黒木由香（ピアノ）

市民参加 フロントスタッフ（ala クルーズ）

実力、知名度共に備えた俳優および演出家を招き、5日間の滞在期間に可児市で作品をつくりあげる、アーラオリジナルの朗読公演を行った。台本は秋田県二ツ井町（現：能代市）にて平成16年まで行われていた「恋文コンテスト」で全国から集められた恋文を元に構成した。音楽は地元の音楽家である黒木由香によるピアノの生演奏で実施した。

事業内容 演出：ラサール石井  
構成：池内風

協力：秋田県能代市（二ツ井町）  
出典：「日本一心のこもった恋文」シリーズ

経費状況 収入 3,424,295円 支出 3,587,382円 収益率 95.5%

アンケート結果

- ・大変感動しました。ハンカチを思わず出しました。次回、大好きな人と来たいと思いました。手をつないで聞きたいと。
- ・私の暮らす地域に比べ、可児市は文化的な質が高いように感じます。何故なんだろうか？本日は出演者の人柄もにじみ出ているように思います。
- ・アフタートークがあるのがうれしいです。
- ・手紙の内容とお二人の声が合っていて最高でした！また見に来たいです。

成 果 今回出演した中村雅俊は、テレビなどで抜群の知名度を誇るベテラン俳優ではあるが、朗読公演は初めての経験だったため、ファン層の関心度も高く、遠方からの初来場客も見受けられた。真野響子も同じくテレビを中心に活躍しており、券売は想定以上に伸びた。加えて、中村は音楽業で可児市のヤイリギター、真野は美濃地方の窯業に関りを持っており、トークでは可児との親密度をアピールし、地元観客との距離が縮まり、会場全体がアットホームな空気に包まれた。アンケート回収率も2割を超える、「大変良い、良い」で97%以上と高い満足度を示した。



---

事 業 名

ala Collection シリーズ vol.14  
「フートボールの時間」 可児公演

---

目的的 アーティスト・イン・レジデンスによる作品制作を実施することで、東京一極集中の演劇創作環境に一石を投じる。「地域での制作」という特性を生かし、市民サポーターを募り、広報宣伝活動やキャスト・スタッフの日常生活のサポートなど、様々な形で作品に関わってもらう。その中で演劇を身近に感じ、一緒に創作しているという市民の実感を広げながら、より多くの市民に質の高い演劇作品を提供する。

---

集 客 数 947 人 席数 1,311 集客率 72.2% 会場 小劇場

---

開 催 日 時 令和5年10月18日（水）～10月22日（日）

---

チ ヶ ッ ト 全席指定 一般 5,000 円 25 歳以下 2,500 円

---

出 演 者 堀小春、井上向日葵、おかげまはじめ、近江谷太朗、林田麻里、谷川清夏、庄司ゆらの、桜木雅、北原日菜乃

---

市 民 参 加 フロントスタッフ (ala クルーズ)

---

事業内容 アーラが企画制作し、全国に発信する演劇公演、ala Collection シリーズの14作目となる。良妻賢母になることが女性の理想とされ、男尊女卑が当たり前だった大正時代の女学生たちがボールを蹴っている笑顔の写真をもとにしたドラマを、丸亀高等学校演劇部が舞台化した戯曲に、女性が活躍できる未来に夢をつなぐ物語を、演劇界で近年、注目を浴びる瀬戸山美咲が潤色・演出して上演した。  
関連企画として、アフタートーク、演劇の魅力発見カフェを各2回実施した。

---

経 費 状 況 収入 18,634,833 円 支出 25,667,460 円 収益率 72.6%

---

アンケート結果

- 私も学生時代からサッカーをしていたので、楽しくみさせていただきました。男子サッカーチームに入りたいと頼み断られたことなど思い出しました（笑）最後感動しましたし、またこのような演劇を見てみたいと思いました。
- 私の在籍する高校演劇部が昨年度この作品を演じていたと聞き、見に行こうという話になりました。高校演劇の形？を踏襲した劇で、シナリオの潤色も非常によく、とても感動しました。また、演技をする上でとても参考になりました。

---

成 果 アンケート満足度において「大変良い、良い」の回答が無回答を除くと100%と高評価となり、質の高い演劇作品の提供はできたといえる。また、長期滞在制作におけるキャスト・スタッフと市民サポーターとの交流から、東京での制作では成しえなかったような「可児らしさ」が作品に生まれ、情緒豊かな舞台空間を作り出すことができた。また、アフタートークでは出演者らから可児での滞在制作の豊かさが大いに語られ、来場した可児市民を沸かせ、作品・創り手と地域・市民との確かな絆を感じることができた。

出演者と、帝京大学高等学校の女子サッカーチームの交流を企画することで、一般的に人口の約2～3%といわれる芸術愛好者以外へのアプローチができ、双方にとって新しい価値を生む関係づくりができた。



事 業 名

ala Collection シリーズ vol.14  
「フートボールの時間」 東京公演

目的 当財団がプロデュースする演劇作品を可児公演だけでなく東京公演および全国公演を視野に入れ、可児市から全国に発信する質の高い作品を目指すと共に、東京公演において演劇界から高い評価を得ることで、市民の演劇に対する理解を得ることを目的に発信し、シティプロモーションに貢献する。

集 客 数 860 人 席数 1,080 集客率 79.8% 会場 吉祥寺シアター

開 催 日 時 令和5年10月26日（木）～11月1日（水） [7公演]

チ チケット 全席指定 一般 5,000円 25歳以下 2,500円

出 演 者 堀小春、井上向日葵、おかやまはじめ、近江谷太朗、林田麻里、谷川清夏、庄司ゆらの、桜木雅、北原日菜乃

市 民 参 加 -

アーラが企画制作し全国の発信する演劇プロジェクトの東京公演として、可児市で制作した「フートボールの時間」を東京で公演し、首都圏に発信した。  
東京公演は可児市のシティプロモーションと位置づけており、終演後に可児の花であるバラをお客様に一輪ずつプレゼントすることで、可児市および当シリーズのブランディング効果を高める効果を図った。  
初めて、東京公演でアフタートークを行い、社会学者の上野千鶴子氏を招き、ジェンダーや社会学の面から作品を多角的に話し合うことができた。また、日本の演劇業界からの評価を得るため、読売演劇大賞などの審査員や演劇評論家などに招待状を郵送し、来場の際には、積極的にアーラを印象付けるPR活動を行った。

経 費 状 況 収入 3,470,500円 支出 9,490,071円 収益率 36.6%

アンケート 結 果

- 昭和61年に男女雇用機会均等法が施行されてから40年近くたつというのに、日本の女性のおかれている状況はこの作品で描かれている100年前と大してかわらない。これが10年くらい前のバックラッシュ盛んな松山市議会で「ジェンダー・バイアスという言葉を使用しない」という決議を行った隣の県なのかと、感動する。
- 公演中ずっと泣いてしまった。必ずしも全部ハッピーエンドではないところが、現在の時代にも問いかけられている気がしました。これからも女性が女性を描く作品が増えるといいなと思います。

成 果 発売から公演直前まで券売が伸びなかったものの、東京初日後に口コミ等で広まり、公演後半はほぼ完売で、入場を断るほどの盛況となった。出演者等の積極的な手売りのほか、アフタートークゲストやSNSによる広報やPV映像によるPRなどの連携が一因と考えられる。恒例となった終演後のバラプレゼントに加え、アフタートークなどで、出演者自らが可児滞在製作の素晴らしさを語ってくれたことも、シティプロモーションとして効果的だった。

アフタートークゲスト選定で、芸術分野以外のゲストは、客層の多様性を作ることと、演劇の理解促進に効果的であった。今後も他分野のゲストを積極的に選定することは、客層の広がりを作るためにも有効である。

---

事 業 名

ala Collection シリーズ vol.14  
「フートボールの時間」 地方公演

---

目 的 当財団がプロデュースする演劇作品を可児公演だけでなく東京公演および全国公演を視野に入れ、可児市から全国に発信する質の高い作品を目指す。また、全国の公共ホールと連携を組み、地域に合わせたワークショップやアウトリーチ事業を実施することで、各地域の芸術文化の活性化に寄与するものとする。各主催者からは公演費として収益を上げる。

---

集 客 数 2,922 人 席数 5,215 集客率 56.0% 会場 下記参照

---

開 催 日 時 令和5年11月7日（火）～11月19日（日） [7公演]

---

チ ヶ ッ ト 丸亀公演 3,000円、四日市公演 5,500円、豊田公演 3,000円、佐野公演 3,000円、  
さいたま公演 4,000円

---

出 演 者 堀小春、井上向日葵、おかやまはじめ、近江谷太朗、林田麻里、谷川清夏、庄司ゆらの、  
桜木雅、北原日菜乃

---

市 民 参 加 -

---

アーラが企画制作し、全国に発信する演劇プロジェクトのツアー公演。可児市で制作した作品を全国に発信し、可児市とアーラのブランド力を高めた。

事 業 内 容 11月7日（火）丸亀市綾歌総合文化会館（アイレックス）  
11月11日（土）四日市市文化会館  
11月12日（日）豊田市民文化会館  
11月16日（木）・17日（金）佐野市文化会館 [3公演]  
11月19日（日）さいたま市文化センター

---

経 費 状 況 収入 23,207,660円 支出 14,281,875円 収益率 162.5%

---

成 果 本公演では連携館であるさいたま市、四日市市、丸亀市の3カ所で女学生役4名の出演者オーディションを実施し、全国から189名の応募があった。書面および実技審査で応募者一人一人と向き合う中で、役者としての才能に優れ、さらに活力溢れる多くの若者が潜在的にいることが分かったことが大きな発見だった。またこのようなく多くの才能ある役者たちにチャレンジの場を提供するうえでもオーディションは効果的であり、今後の演劇文化の発展に期待できる。そして今回のオーディションを実施しなければ出会うことのなかつた4名の役者たちは本舞台で見事な輝きを放った。

ツアー各劇場との連携を密接に行い、ウェブサイトなどで情報発信・宣伝を共有していくことで、劇場同士の連携強化に結び付けることができた。

事業名

## 歌舞伎とおしゃべりの会

目的 難解だと感じられるがちな歌舞伎や日本文化に気軽に触れてもらえる機会を提供する。またバスツアーや参加型の講座を行うことで参加者同士のコミュニケーションを図り、地域文化の活性化につなげる。

集客数 264人 席数 386 集客率 68.4% 会場 映像シアター

開催日時 令和5年9月17日（日）、11月18日（土）、12月24日（日）、令和6年2月18日（日）

チケット 講座：1,000円／回

講師 下記事業内容参照

市民参加 受付、運営補助（可児歌舞伎）

事業内容 9月17日（日）落語と歌舞伎のいい関係～落語家・林家正雀～ 講師：葛西聖司  
11月18日（土）ディープに歌舞伎入門⑧作家編 巨匠・近松門左衛門に迫る 講師：木ノ下裕一  
12月24日（日）ディープに歌舞伎入門⑨言葉編 歌舞伎・文楽の解像度が上がる”ことばの世界” 講師：木ノ下裕一  
2月18日（日）タケルはばたく！…二代目市川右近 講師：葛西聖司

経費状況 収入 591,170円 支出 681,810円 収益率 86.7%

アンケート結果

- 落語家が歌舞伎を演ずることをはじめて知りました。非常にゆかいなトークで大変良かった。芝居もよかったです。何か得した気分。
- 1つの題材（今回は近松）に対して、詳しく説明をうけ、分かりやすく、あまり知らない私にとっては興味がわきました。
- 市川右近さんの素顔の一面が見れて大変良かったです。初めての友人も喜んでました。

成 果

深い知識が得られる木ノ下の講座と、目新しく娛樂性の高い葛西の講座、両輪のバランスが良く取れていたと感じた。林家正雀の、歌舞伎とは違うジャンルで一芸を備えたゲストの実演があると、会のお得感が増し、充実度が高まる。一方、市川右近のような、まさに歌舞伎界の将来を担うような人材を招いて身近な空間で「おしゃべり」できるのも、この会の大きな魅力となっている。木ノ下の講座は、近年の活躍の目覚ましさも手伝ってか、安定した人気を感じさせる。総じて、アーラおよび可児市の文化の薫り高さを体現するような会となっている。



事業名

## 森山威男ジャズナイト 2023

目的 開館以来、恒例の森山威男を中心としたトッププレイヤーによるエネルギーで迫力ある生演奏により、一般的なジャズファンに捉われずに幅広い観客層に対して魅力あるコンサートを行う。質の高い独自企画としてアーラのプランディングを担う事業とする。

集客数 594人 席数 907 集客率 65.5% 会場 主劇場

開催日時 令和5年9月16日（土） 18時30分開演

チケット 全席指定 一般 5,000円 25歳以下 2,500円

出演者 森山威男 (ds)、佐藤芳明 (acc)、渡辺ファイアー (as)、川嶋哲郎 (ts)、田中邦和 (bs)、中山拓海 (as)、魚返明未 (p)、富樫マコト (b)

市民参加 フロントスタッフ (ala クルーズ)

可児市在住のドラマー・森山威男を中心としたトッププレイヤーによる恒例のジャズコンサートを開催した。会場は熱い演奏に酔いしれた。メンバーが大幅に入れ替わり、若返りが図られた。選曲もこれまでとは異なる曲を取り上げ、演奏者による語りを加えるなど、実験的な試みが行われた。

### 【プログラム】

It Don't Mean a Thing / American Patrol / Danny Boy, HACHI / 渡良瀬 / Gratitude / Your Son / Sunrise

(アンコール)

Isn't She Lovely? / Good Bye

経費状況 収入 4,155,432円 支出 4,408,210円 収益率 94.3%

アンケート  
結果

- 森山さんのドラムとトークが好きで何度もお邪魔しています。本日の演奏、構成、素晴らしかった。
- 素晴らしいライブでした。音質、音量、照明等も良いもので、最高に楽しめました。森山氏のお人柄も滲み出ており、温かい気持ちにもさせられました。また開催されるようでしたら、是非伺いたいです。この度は良い企画をありがとうございました。

成 果

600人近い人が来場し、プログラムも例年とは一味違った選曲でアンケートでも95%の人が「大変良い・良い」と回答していて、お客様にも大変好評だったことがうかがわえた。恒例のじゃんけん大会も例年通り行うことができ、森山さんと来場者とが交流を深めることができた。



**事業名****大型市民参加事業  
オーケストラで踊ろう！「裁&判」****目的**

普段、コンテンポラリーダンスやクラシック音楽に馴染みのない市民が舞台公演に挑むことで、文化芸術の魅力を体感して知ってもらうと同時に、性別・世代・国籍・障がいの有無などに問わらず、舞台公演を創るという共通体験をすることで、違いを豊かさに変える出会いの場を創り出し、市民に新たな人とのつながりを形成することを目指す。また一流の演出家・振付家を招くことで、市民の創作意欲を高めると共に、質の高い舞台制作と地元創造者の育成および鑑賞者の拡充を図る。

**集客数** 1,077人 **席数** 1,480 **集客率** 72.8% **会場** 主劇場

**開催日時** 令和6年3月2日（土）18時30分開演、3日（日）14時開演

**チケット** 全席指定 1,000円

**出演者** 市民ダンサー 48人、市民合唱隊 10人、可児交響楽団 66人  
康本雅子（ダンサー）、吉谷誠一（指揮）、小山まさし（ダンサー）、小倉笑（ダンサー）

**市民参加** 市民サポーター 8人、フロントスタッフ（ala クルーズ）

公募で集まった市民ダンサーが地元で活躍する可児交響楽団の生演奏に合わせて、ダイナミックに踊る市民参加公演。康本雅子氏による振付・演出で公募で集まった市民ダンサーの個性を引き出し、裁判をテーマにここでしか見られない市民によるオリジナルダンスを創作した。

**事業内容**

【稽古】12月2日から毎週土日を中心に稽古

【演奏曲】J. ウィリアムズ／「スター・ウォーズ」よりメインタイトル

A. ドヴォルザーク／交響曲8番 ト長調 作品88

作詞：武山祐子、作曲：中川康多／可児市讃歌

【スタッフ】振付・演出：康本雅子、指揮：吉谷誠一、アシstanto：小山まさし、小倉笑、市民サポーター（8名）

**経費状況** 収入 13,087,831円 支出 13,632,163円 収益率 96.0%

**アンケート結果**

- ・知人が出演していたこともあり観にきました。市民とオーケストラのアンサンブル！このために集まった年代も様々な市民が、作り上げた舞台に感動しました。自由に表現する楽しさを、このステキな舞台で体験できたみなさんやご家族は、一生の思い出に残ると思います。次回は、私も参加してみたいと思いました。
- ・オーケストラの生の音楽と踊りの融合、なんとも贅沢な時間でした！音楽と踊りからストーリーを想像で創造力をかきたてられました。あの音楽からこんなストーリーがうまれるなんですねばらしかったです！

**成果**

アーラオリジナルの市民参加公演であり、ダンス界の鬼才・康本雅子を振付・演出に起用したこと、裁判をモチーフにしたダイナミックかつトリッキーで遊び心溢れ、芸術性にも富んだ作品創作を実現できた。幅広い年齢層に市民ダンサーとして参加してもらうことができ、「違い」を「豊かさ」に変換し、奥行きのある作品創作が可能となり、集客の幅も広げることができた。また、出演以外に、舞台の裏方や広報宣伝をサポートする市民ボランティアも募集し、特技を活かして活躍した。作品作りを通して、市民ダンサー、可児交響楽団、市民ボランティア、スタッフ、アーラ職員らが一体となり、強い結束を生み出すことが出来た。



事業名

## 森山威男ドラム道場

目的 日本を代表するジャズドラマー・森山威男によるドラム講座を開講することにより、初心者からプロを目指す方まで、ドラムという楽器だけでなく音楽に対する視野を広げる。地域に住むアーティストとの連携による独自の事業を展開することにより、当センターのブランディングに資する。

集客数 道場生 席数 - 集客率 - 会場 音楽ロフト  
延べ245人

開催日時 ドラム道場／通年  
【関連企画】 【関連企画】 ドラムの核心～3台のドラム×ピアノによる奇跡のライブ～  
令和6年2月17日（土） 15時開演

受講料 【ドラム道場】 受講料 1回 3,000円／18才以下 1,500円  
【関連企画】 全席指定 3,000円 25才以下 1,500円

講師 森山威男

出演者 関連企画：森山威男（ds）、石若駿（ds）、松下マサナオ（ds）、伊藤志宏（pf）

市内在住のドラマー・森山威男を講師に迎え、その高度な演奏技術を学ぶ講座をグループレッスンと個人レッスン形式で実施した。

事業内容

【関連企画】  
ドラムの核心～3台のドラム×ピアノによる奇跡のライブ～

経費状況 収入 2,292,052円 支出 2,475,548円 収益率 92.6%

### 【ドラムの核心】

- アンケート結果
- とても素晴らしいです。感動しました。森山さんのコンサートは毎回楽しいです。また聴きたいです。
  - とても盛り沢山で、よい公演でした！またやってほしいです。
  - 森山威男さんのコンサートは、毎回楽しく聴かせていただいています。今回の企画も大変良かったです。

成 果 コロナ禍が明け、通年でドラム道場を開講することができた。受講生も新たに2名増えて、一日に受講できる最大人数となった。10代から60代までの幅広い層が参加し、ドラム道場自体のレベルアップにも繋がった。また世代を超えて教え合うなど、ドラム道場がレッスンだけに留まらない交流の場となっている。



## 事業名

## 新日本フィルハーモニー交響楽団メンバーによる オープン・シアター・コンサート

**目的** 障がい者や乳幼児とその家族など、普段劇場に足を運ぶのが難しい人たちでも来やすいコンサートとし、多様な市民が一流の演奏を楽しめる機会を作る。特に障がい者は施設や学校等、特定の場所以外に出かけることが難しく、社会的に孤立しがちなため劇場が一つの居場所となり、また社会との接点の一つとなることで社会包摂機能を持つ地域劇場としての使命を果たす。

集客数	298人	席数	664
集客率	44.9%	会場	主劇場

開催日時	令和5年6月2日（金）	10時30分開演
------	-------------	----------

チケット	全席指定 500円	前列のびのび鑑賞席	自由席 500円
------	-----------	-----------	----------

出演者	新日本フィルハーモニー交響楽団
-----	-----------------

市民参加	フロントスタッフ (ala クルーズ)
------	---------------------

障がい者や乳幼児を持つ家族など、普段劇場に足を運ぶのが難しい人たちでも来やすいクラシックコンサートを開催した。車いす席を増やしたり、寝ころんだまま鑑賞できる席をつくるなど会場のレイアウトを工夫し、ホールで音楽を楽しめる機会を提供した。

**【プログラム】**

クライスラー：愛の喜び

**事業内容** モーツアルト：「アイネ・クライネ・ナハトムジーク」より第1楽章  
アンダーソン：「ワルツィング・キャット」「シンコペーテッド・クロック」「サンドペーパー・バレエ」  
ヨーゼフ・シュトラウス：鍛冶屋のポルカ  
メンケン：映画「美女と野獣」よりメドレー  
チャイコフスキイ：「弦楽セレナーデ」より第1楽章

経費状況	収入 730,484円	支出 1,342,726円	収益率 54.4%
------	-------------	---------------	-----------

**アンケート結果**

- ・肩ひじ張らない、にぎやかなミニコンサートで楽しかった。幼児が声をあげて、騒がしい会場で、音の無法地帯とも思えるコンサートだが、それもありかと感じた。気軽に足を運べる催しで、また来てみたいと思った。
- ・昨年参加して良かったので、今回も参加しました。子どもが多少動いても気にせず、ゆったりとした気持ちで音楽を楽しめて、1年に1度を楽しみにしています。

近隣から11の福祉施設、高齢者施設、学校が鑑賞した。入場者数も昨年と比較して1割ほど増えており、徐々にコンサートにお客さんが戻りつつあるのが実感された。また「のびのび鑑賞席」も早々に完売となり、親子連れでコンサートに来たいという層が多いということがうかがわれた。

成 果

今年は「おもちゃの演奏会」と題しておもちゃにちなんだ曲が演奏された。クラシックの名曲だけでなく映画音楽やゲーム音楽など趣向を凝らした選曲となっており、これまで以上に幅広い層の方々に楽しんでもらうことができた。コロナ禍も明け、客席での合唱も解禁となり、司会の合図で出演者と一緒に合唱を楽しんだり、持参の楽器で合奏を楽しむなど温かい雰囲気のコンサートとなった。日頃コンサートに通うことの少ない人達にとって貴重な体験の場となったのではないかと思う。



事業名 **ココロとカラダワークショップ  
(親子 de 仲間づくりワークショップ・ココロとカラダの健康ひろば)**

目的的 乳幼児とその親、高齢者が孤立してしまうことを防ぐために、それぞれの仲間の輪を広げることを目的にコミュニケーションワークショップを継続的に実施する。

集客数 ①親子 de 仲間づくりワークショップ 延べ 237組 485人 会場 レセプション  
②健康ひろば 延べ 315人 ホール 他

開催日 令和5年4月19日(水)～12月13日(水)の指定水曜日  
親子 de 仲間づくり 前期6回、後期5回、ココロとカラダの健康広場 前期10回、後期10回

参加料 参加料 1回 300円

講師 (体奏家) 新井英夫チーム、(ゲスト講師 ヴォイスパフォーマー) 中ムラサトコ、  
(劇・あそび・表現活動) Ten seeds

コミュニケーションゲームやダンス、演劇表現の要素を取り入れながら、参加者同士の交流を深め、健康づくりそして仲間づくりを促進する空間づくりをした。  
**【親子 de 仲間づくりワークショップ】** 市内在住の0～3才児とその保護者対象ワークショップ  
(前期) 4月～7月の水曜日 10:45～11:45 全6回×2チーム  
(後期) 10月～12月の水曜日 10:45～11:45 全5回×2チーム [定員] 各チーム15組  
**【ココロとカラダの健康ひろば】** 60代以上対象ワークショップ  
(前期) 4月～7月の水曜日 14:00～15:15 全10回  
(後期) 10月～12月の水曜日 14:00～15:15 全10回 [定員] 20人 [参加人数] 延べ315人  
**【高齢者サロン・リーダー研修会】**  
12月7日(水) 14:00～15:15 [会場] 福祉センター・大ホール [参加人数] 29人

経費状況 収入 1,113,351円 支出 2,206,427円 収益率 50.5%

アンケート結果 【親子de仲間づくりワークショップ】  
同じ年齢の子どもと接することが少ないので良い機会になりました。ワークショップをしてくださる方たちはみんな優しく、子どもへの声掛けや遊びへの誘い方はさすがだなと思いました。お弁当を食べられるように部屋を開放してくださるのも良かったです。他のお母さんと話す機会にもなりましたし、家に帰る前に子どもが思い切り遊べる場があるのが助かりました。

【ココロとカラダの健康ひろば】  
今期はじめて参加、フレンドリーな皆さんで心のhappyと体のhappyを頂けました。ワークショップを続けていくことが私の前向きな行動に繋がっていると思います。

成 果 親子de仲間づくりワークショップに関して、各日程(前期7回・後期6回・定員20組)を想定していたが、講師の体への負担を考慮し(前期6回・後期5回・定員15組程度)へ変更しつつ最大限の回数・人数設定を確保した。高齢者対象WSでは、後期日程において新規参加者が増え、脳梗塞を患って以来外出する機会が減ったという夫を心配した奥様が一緒に参加し、頭と体を心地良く刺激する活動内容を気に入り自己の気分転換にもなるということで継続参加してくださることとなった。後期最終日には、活動後のお茶のみおしゃべりの時間にサプライズで新井チームが登場。参加者は再会を大いに喜び、翌日に開催したまち元気部対象の「手と手であそぶ」に多くの希望者が参加するなど活発な交流機会となった。講座終了後も、グループLINEや公演鑑賞などで参加者同士が自発的に交流を図っており、能登半島地震発生時には金沢在住の講師を含めお互いを心配し合うなど、ひとり暮らしの方もいるなかで、目標としている「孤立防止」の一翼を担えているのではないかと実感した。



## 事業名

## 児童・生徒のためのココロとカラダワークショップ スマイリングワークショップ

**目的** 不登校児童・生徒が自己肯定感を育めるように、また市内小学校へ通う子どもたちが、相手に自分の思いや考えを表現し、そして相手を受け入れることができるコミュニケーション能力を育むため、継続的に実施する。また夏休みに教職員対象ワークショップを行うことで教職員が現場で活用できる活動事例を伝える。

集客数	児童生徒 1,214人 スマイリング 127人	席数	-	集客率	-	会場	スマイリングルーム 市内小学校 他
-----	----------------------------------	----	---	-----	---	----	-------------------------

開催日	令和5年4月20日（木）～12月14日（木）	児童生徒	全48回
		スマイリング	全10回

講師	3チーム（体奏家）新井英夫・板坂記代子・松岡恭子 (劇・あそび・表現活動) Ten seeds (アフタフバーバン) 佐藤律子・清水洋幸
----	--

コミュニケーションやダンス、演劇表現の要素を取り入れながら、子どもたちのコミュニケーション能力を伸ばし、自分を表現する、相手を受け入れることのできる心身づくりをする。

事業内容	【児童のためのココロとカラダワークショップ】市内小学校 児童対象 クラス単位のワークショップ (前期) 4月～7月の主に木曜日 (後期) 10月～12月の主に木曜日 ※各校相談により時間設定 全48回実施 【スマイリングワークショップ】市内不登校児童・生徒が通うスマイリングルームでのワークショップ (前期) 4月～7月の木曜日 10:30～11:45 (後期) 10月～12月の木曜日 10:30～11:45 全10回実施 【教職員対象ワークショップ】(教員2年目悉皆 及び 希望者研修) 7月31日(月) 10:00～16:00 [会場]レセプションホール 1回実施
------	---

経費状況	収入 3,172,841円	支出 3,656,673円	収益率 86.8%
------	---------------	---------------	-----------

アンケート結果	【担任より】 自由に動き回ったり反応したりする姿を見て本来の姿を出していると感じると共に授業の中ではかなりがんばっているのだとわかる児童もいました。何事もプラスの言葉がけをしてくださるので児童がどんどん自信満々の表情になっていました。 【児童より】 ココロとカラダワークショップで、いろいろな子と話せて仲良くなれるんだと思い、いいなこの授業と思いました。友だちが増えて話すのが楽しかった。
---------	---

成 果	今年度より新設した小学校低学年を対象としたワークショップでは、モノに変身したり成りきったりするなかで、楽しみながらチームの仲間と相談し、協力して表現をつくりあげることが出来ていた。
-----	--

学校都合により90分から60分に短縮しての実施となったクラスでは、ジェスチャー回答者役を2人ずつにすることで時間を短縮したが、おとなしい性格の子ども達にとっては相談相手がいることで安心してその場にいられるという効果もあった。また子ども達との会話から、中学年を対象としたワークショップでは、小学校入学時からコロナ禍で人の接触が制限された学校生活を送ってきたため、クラスの仲間とふれ合いながら活動することが新鮮な体験で、皆と一緒にやることが楽しいという感想が多く寄せられた。

不登校児童・生徒対象ワークショップでは、初回は大泣きして活動にもは入れなかった児童が、継続実施していくなかで講師陣に心を開き、リレーでは1人で走り切ることができたなど、各々の成長を見ることができた。



## 事業名

## 多文化共生プロジェクト 2023

**目的** 可児市には外国にルーツがあり多様な文化的背景を持つ市民が人口の約8%在住しており、そのような外国籍の市民は言葉や文化の違いによる様々な課題を抱えて生活している。可児市の多文化共生の理念の柱の1つである、"地域社会における共生"を目的として、外国籍と日本籍の市民が文化芸術を介して交流し、同質のコミュニティの中で生活をする外国籍の人が別の居場所を見つけ、互いを尊重しあうことで、豊かな人間関係づくり、地域のコミュニティ形成につながることを目的とする。

集客数	参加者 延べ182人 観客127人	席数 -	集客率 -	会場 土田地区センター、 演劇練習室
-----	-------------------------	------	-------	--------------------------

**開催日時** 【稽古】令和5年6月～8月  
**【公演】** 土田地区センター 令和5年8月20日（日）13時30分、16時開演 2回公演  
 演劇練習室 令和5年8月26日（土）13時30分、16時開演 2回公演  
 すべて入場無料  
 公演後に多文化交流会を実施した。

**出演者** 日本、外国籍の市民 16人

**事業内容** 脚本・演出に鹿目由紀を迎えての第6弾となる多文化共生プロジェクト。前年度にドキュメンタリー演劇の手法を取り入れた演劇作品『BORDER』を、アウトトリーチ用の作品として振付も入れてリメイクし、可児近隣で巡回公演を行う。参加者だけでなく、鑑賞者も文化の違いや共通点を共有することで、「違い」が「豊かさ」に感じるきっかけとなる機会を提供した。  
 作・演出：鹿目由紀／振付：堀江善弘／演出助手：カズ祥／アドバイザー：住吉エリオ、山田久子  
 出演：日本、外国籍の市民 12人

**経費状況** 収入 444,455円 支出 948,204円 収益率 46.9%

**アンケート結果** ・素晴らしい公演でした！もっと作品が成長して、日本中を回り、皆さんに見てもらいたいです。参加できる日を楽しみにしています。  
 ・とても感動しました。日本人同士にもボーダーがあることを理解しました。  
 ・えんげきに国籍は関係ないんだなと思いました。  
 ・ありがとうございました。感動しました！私たちが感じていることを表現していただき、涙がでました。ボーダーは自分自身が作っていることもあると教えてもらいました。

**成果** 昨年製作した舞台をコンパクトにリメイクし、アーラ以外の公演地を模索する意図があったため、新規出演者は数を極力減らし、メインの公演以外のイベントを増やすことで、新規参加希望者の活動機会を確保した。当初目的であった実施場所・活動機会の増加は達成し、メディアへの露出や外部団体との交流など、想定以上の成果を得ることもできた。「多文化共生」というテーマが、一部地域ではなく、もはや全国的なものとして扱われてきているという実感を得るとともに、アーラの「多文化共生プロジェクト」は先駆者的な活動としてとらえられていると知ることができた。



事業名

## 紙芝居一座支援

目的 平成27年度に文学座朗読ワークショップに参加した市民で構成するアーラ紙芝居一座を支援し、市民の文化芸術活動の促進を図る。子どもを主な対象とした紙芝居公演を実施し、将来の鑑賞者育成を図る。

集客数	参加者 11人 観客 82人	席数 -	集客率 -	会場	下記参照
-----	-------------------	------	-------	----	------

開催日時 【稽古】令和5年6月～令和6年3月 14回  
【公演】令和5年9月10日(日)、10月14日(土)、11月18日(土)、令和6年3月24日(日)

出演者 アーラ紙芝居一座 11人

市民参加 アーラ紙芝居一座 11人

文学座の演出家を招いたワークショップにより結成された市民で構成する紙芝居一座の活動を支援し、子どもを対象にした紙芝居作品の制作、公演を支援した。

事業内容 ①「はなのみち／おむすびころりん」6回稽古：6月～9月 公演：9/10(日) 中央児童センター  
②「おおきなかぶ／ももたろう」3回稽古：9月～10月 公演：10/14(土) 多治見旭ヶ丘児童センター  
③「おおきなかぶ／ももたろう」：2回稽古：11月、公演：11/18(土) アーラ水と緑の広場  
④「ながぐつをはいたねこ」：2回稽古：3月、公演：3/24(日) 中央児童センター

経費状況	収入 143,267円	支出 32,616円	収益率 439.3%
------	-------------	------------	------------

### 【参加者メンバーの感想】

アンケート結果  
・みんなでアイディアを出しながら、新作を作ることが出来て嬉しかった  
・子ども達も参加しながら作品を楽しんでくれて、良かった。  
・色々なところから公演の依頼があることが、嬉しいし、やりがいを感じる。

成果 活動開始から9年目に入るが俳優や小道具など様々なモノが物語に合わせて紙芝居から飛び出してくるなど、演劇的な要素を取り入れ、遊び心が詰まったオリジナルの紙芝居は、子ども達にとって地元の児童センターなど身近な場所で観れるとても刺激的な観劇体験として定着しているといえる。地元で活動する演劇や朗読愛好家による、地元の子ども達への豊かな観劇体験に大きな功績となっている。作品を地産地消しながら地元表現者の人材育成にも役立てているこの好循環な取り組みは、アーラと地元の表現者、可児市近隣の児童センターなどとのつながりをも強固にし、地域の活動ネットワークを広げている。紙芝居メンバーにとっても仕事や家事などを抱えながらも無理なく続けられるスケジュールを組んでいることで、本活動がひとつの居場所となり、やりがいを生み出していることも成果としてあげられる。



**事 業 名****劇場に関わる人のためのアーツマーケティング・ゼミ  
「あーとま塾2023」**

**目 的** ala の鑑賞者開発の取組みや、地域貢献及び社会的包摶に関する考え方と具体例を題材に劇場関係者と意見交換し、社会機関としての劇場運営について学び合うことを目的とする。今年度は「社会包摶型劇場経営」の運営モデルを共有・体系化すること、文化芸術を活かした「社会的処方箋活動」の実践拠点を目指した人材育成などに取り組むこと、文化芸術の社会的価値を評価する指標づくりを視野に入れ、今後5年間での目標設定を考える。

<b>参 加 者 数</b>	参加者 延べ83人	席 数 -	集 客 率 -	会 場 音楽ロフト 美術ロフト
----------------	--------------	-------	---------	--------------------

**開 催 日 時** 令和5年 9月7日（木）、8日（金）  
令和6年 2月7日（水）、8日（木）

**ゲ ス ト** 塾長：衛紀生 ala シニアアドバイザー兼まち元気そうだん室長  
講師：大澤寅雄 合同会社文化コモンズ研究所代表  
落合千華 一般社団法人 CoAr 代表理事、慶應義塾大学SFC研究所上席所員  
源由理子 明治大学公共政策大学院ガバナンス研究科専任教授、日本評価学会副会長

**事 業 内 容**

Step1 文化芸術の価値の可視化 音楽ロフト	9月7日（水） レクチャー 13:00～17:00 トークテーマ「文化芸術について社会的・経済的価値と、持続可能な文化芸術のエコシステム形成について」
Step2 文化芸術のプログラム評価 美術ロフト	9月8日（木） グループワーク 10:00～15:00 「まち元気プロジェクト」のロジックモデルワークショップ
Step1 文化芸術の価値の可視化 音楽ロフト	2月7日 レクチャー 13:00～17:00 「評価的思考についての概要と、参加型評価について」
Step2 文化芸術のプログラム評価 美術ロフト	2月8日 グループワーク 10:00～15:00 「まち元気プロジェクト」ロジックモデルワークショップと評価指標作成

<b>経 費 状 況</b>	収入 958,342 円	支 出 2,163,216 円	収益率 44.3%
----------------	--------------	-----------------	-----------

**アンケート  
結 果**

- 専門家のお話を伺うことで、新しい知見を取り入れることができました。また参加者全員がモチベーションの高い方々でしたので、その出会いは、相手から触発される経験となりました。またこの出会いは、同類の人たちを見つけて、自分の立ち位置を再認識する経験もありました。
- 政策に関して漠然と把握していたことを、各専門家の視点から補強をしてもらえたと感じます。ロジックモデル作りのワークについても、ただ組んでみるというわけではなく、実際に開催実績があり、経験のあるスタッフも交えて臨むことができたので、より現実味のあるワークでした。

**成 果**

参加者のアンケートでは、17人中17名が「参加前の期待と比較して、ゼミに参加して満足しましたか？」、「参加前に比べて、文化芸術の評価や文化政策について理解が深まりましたか？」の問い合わせに、「とてもそう思う、そう思う」と回答して、満足して評価に関する理解が深まっていることがわかった。「今回のゼミに参加して得た知見を、所属する職場や活動する現場などに還元できそうですか？」と問い合わせには、17人中15名が「とてもそう思う、そう思う」と回答して、このゼミで得た知見が各参加者の現場に活かそうとしていることがわかった。



事業名

## 社会的処方箋活動 アーラ みんなのピアノ プロジェクト

目的 「ピアノを弾きたい」という夢や希望を心に抱きながら、家庭環境等の理由でそれを叶えることができない子どもたちに、その機会を提供する。付添としてピアノ講師等が入り、子どもたちを見守りながら、子どもの可能性や達成感を育む。

集客数	生徒数 延べ 384人	席数 -	集客率 -	会場 演劇練習室 他
-----	-------------------	------	-------	------------

開催日時 通年 (325回)

参加料 無料

市民参加 講師・受付スタッフ：有志で集まった地元ピアノ講師および音大生、本プロジェクト賛同者 10名

ピアノを弾きたいという気持ちを持ちながら、それを自力では叶えることができない子どもたちにピアノと練習場所を提供する。付き添いとしてピアノ講師や音楽大学の学生が同席し、子どもたちを見守った。

対象：ピアノ教室に通っていない概ね小学1年生～中学3年生

期間：令和5年6月～令和6年3月

事業内容 合計324回（1回30分 一人当たり月2回程度）

【発表会・レクチャー付き講師演奏】 令和6年3月9日（土）

参加者：30名（生徒12名、講師4名、ほか保護者等） 生徒や講師、家族間の交流の場として発表会と講師による演奏を行った。本プロジェクトに参加するメンバーが一堂に会する場を設けることで、つながりを生み、継続していくまでの達成感やモチベーションを保つ場となった。

経費状況	収入 1,366,439円	支出 1,874,854円	収益率 72.9%
------	---------------	---------------	-----------

(経費状況は他の社会的処方箋活動と合算)

アンケート結果 ・ピアノの音が良くて気分が上がりました。先生とも楽しくお話しできました。音を感じて音楽の楽しさをこれからも知りたいです。

成果

譜面通りに正確に弾くといった技術力の向上のみを重視するのではなく、生徒に寄り添いながら良い所を伸ばし、達成感を味わうことで子ども達が前を向いて立ち上がる勇気を持つための手助けをすることができた。発表会は、生徒や講師、家族間の交流の場として発表会と講師による演奏を行った。本プロジェクトに参加するメンバーが一堂に会する場を設けることで、つながりを生み、継続していくまでの達成感やモチベーションを保つ場となった。



事業名

## 社会的処方箋活動 まち元気部

目的  
近年の教育現場は、学校の働き方改革を推進する目的で、学校部活動の外部化を推進しており、地域の中で持続的な文化芸術活動が子どもたちに行われることが求められている。この流れを受けて、これまでのアーラまち元気プロジェクトのプログラムを活かして子どもたち、そして地域の繋がり回復を軸とした多世代交流の取り組みとして様々な場づくりを本事業で起こしていくことを目的とする。

集客数 参加者 席数 集客率 会場 ala 館内  
延べ176人 - - 他

開催日時 通年（44回）

参加料 無料

市民参加 市内の中学生、高校生年代（通信制高校を含む）17人

学校の枠をこえて集まった中高生たちが、アーラの文化芸術プログラムや地域のコミュニティ活動を通して様々な人と一緒に“まちを元気にする活動”をした。

### 【プログラム】

オリエンテーション（1回）、劇場たいけんツア（3回）、バースデーカードづくり（5回）、フロントスタッフ案内業務（3回）、ラジオ広報番組制作（8回）、美術ワークショップ「手と手であそぶ」（4回）、子ども食堂ワークショップ（3回）、美術ワークショップ「きてきてアーラ」（2回）、事業サポート（ディスコ2回、エイブルアート1回、ala Collection1回）、公演鑑賞（多文化演劇公演1回、オーケストラで踊ろう！1回）、あそびのマルシェ「まち元気あそび隊」（3回）、大学見学（1回）、Tシャツづくり（1回）、地域のイベント体験「ごちゃまぜアート（1回）」、映画上映（1回）、万華鏡ワークショップサポート（1回）、振り返り会（1回） 計44回

経費状況 「みんなのピアノ」参照（経費状況は他の社会的処方箋活動と合算）

### 【まち元気部参加者】

- アンケート  
結果
- ・参加してよかったです…100%、来年度も参加したい…85%、自分の居場所に感じる…100%
  - ・沢山のお友達ができて一人じゃなくなった。
  - ・企画するとき、どういうデザインなら子どもが喜んでくれるか考えて、自分の案が褒められたり、本当に実現したりして嬉しい。

成 果

体験活動を通じて、メンバーは自分の得意なこと、好きなことに気づき、価値観や視野に広がりが感じられた。元気部に入ったことで、活動・体験の選択肢が増え、地域とつながる機会が増え、自身の居場所と感じられる活動になっている。元気部の展示会をやりたい、グッズを作りたいなど、自分たちの活動を広める意欲がでてきている。



事業名

## 社会的処方箋活動 まち元気サポーター養成講座

目的 アーラが、これまで培ったさまざまな文化芸術プログラムと地域内的人的リソースを最大限に活かして行う「文化芸術版社会的処方箋活動～『まち元気プラットフォーム（持続可能な地域の支え合いのネットワーク）』」の本格的な構築を支える、“市民リンクワーカーの育成”を目的とする。

集客数	参加者 延べ101人	席数	-	集客率	-	会場	音楽ロフト 他
開催日時	通年（14回）						
参加料	無料						

### 【プログラム】

勉強会（座学・グループワーク 6回）

企画会議・準備：6回

企画実施：1回

認定式：1回

事業内容 座学・グループワーク講師：鳥羽都子（岐阜県美術館）、守本陽一（ケアと暮らしの編集社）、田沢千草（ありがとうファーム・ハブラボ、森合音（四国こどもおとなの医療センター）、澤村潤（可児市文化創造センター）、唐川恵美子（ほっちのロッジ）

実施企画：11月18日（土）10:00-15:00 水と緑の広場

「集まれ！ala まち元気あそび隊」10ブースのあそびのマルシェを開催した。

経費状況 「みんなのピアノ」参照（経費状況は他の社会的処方箋活動と合算）

まち元気サポーターは、文化芸術を介して、子どもたちや何らかの生きづらさを感じている人に寄り添う場、共に楽しむ場に身を置くことで、その必要性への理解や、自分たちが行動を起こすきっかけを提供することができた。

成 果



---

事 業 名

## 社会的処方箋活動 まち元気そだん室

---

目 的 「劇場」が人々の社会的孤立を緩和するため、文化芸術を活かして「地域での人のつながり」を処方するプラットフォームとなることを目指し、劇場にチケット窓口、貸館受付窓口とは別の、第3の「そだん機能を有した窓口」を開設する。また行政、社会機関、学校、N P O や市民活動など社会課題に取り組む諸機関との横の連携、情報共有を図っていく。

---

集 客 数	参加者 延べ 34 人	席数	-	集客率	-	会場	創造スタッフ室 他
-------	----------------	----	---	-----	---	----	--------------

---

開 催 日 時 通年 (20回)

---

参 加 料 無料

---

事 業 内 容 まち元気そだん室として5月より、毎週水曜日、予約が入った日時に創造スタッフ室にて開室した。相談員は必要に応じて関係する ala スタッフが対応した。(16件) また、社会機関との情報交換会としてまち元気ラウンドテーブルを実施した。(4回) ラウンドテーブルメンバーとして、可児市教育員会、N P O 法人可児市国際交流協会、N P O 法人可児市N P O 協会、N P O 法人 ala クルーズ、社会福祉法人可児市社会福祉協議会、令和さくら高等学院の代表者が参加した。

---

経 費 状 況 「みんなのピアノ」参照 (経費状況は他の社会的処方箋活動と合算)

---

「相談」という機能を劇場に付加させることができ、困り事に対して話を聞く機会や、アーティストの活動を紹介する機会となった。

成 果



---

事業名 可児常磐津教室支援 巴瑠の会 おさらい会

---

目的的 市民に敷居が高く感じられがちな常磐津（歌舞伎と共に発展してきた「淨瑠璃」の流れをくむ「語り物」）を気軽に学ぶことで邦楽の魅力を伝え、伝統音楽を後世に引き継いでいく。また、成果発表の場であるおさらい会を開き、市内では聴く機会の少ない本格的な生演奏を市民に楽しんでいただく。

---

集客数 87人 席数 311 集客率 28.0% 会場 小劇場

---

開催日 令和6年2月12日（月・休）13時開演

---

参加料 全席自由 入場無料

---

市民参加 フロントスタッフ（ala クルーズ）

---

事業内容 【常磐津教室】  
おさらい会に向け講師を招き、月1回程度の稽古を行う。  
講師：常磐津巴瑠幸太夫、参加者：11人  
【おさらい会】  
教室参加者だけでなく、地域の方にも気軽に常磐津を楽しんでいただけるよう公演形式で成果発表した。入口にて来場者に演奏曲目を全曲収めた詞章（歌詞）を配布した。  
出演常磐津教室参加者10人、常磐津巴瑠幸太夫（講師） 賛助出演：千代の友鶴、西川三寿生、常磐津三津貴、常磐津三都姫

---

経費状況 収入 0円 支出 2,992円 収益率 0.0%

---

アンケート結果 【参加者の声】  
・今回も無事に継続して発表会まで実施出来たことが何よりも嬉しい。  
・色々な方に支えてもらいながらこの発表会が出来ることをとても感謝している。

---

成 果 主催事業で実施していた常磐津教室から続け、9年目の実施。参加者は、昨年は10名であったが、今回は1人増えて、合計11名で実施した。アーラ主催事業から変わり、可児常磐津教室として独立して7年が経過したが、全国的に珍しい常磐津教室という伝統芸能を参加者たちだけで運営して、継続していること自体が成果といえる。

「おさらい会」については、共催事業として会館スタッフが全面的にフォローすることで、本格的な公演が継続できている。講師の演奏も含め、本格的な演奏会にすることで、参加者のモチベーションを高めるだけでなく、地域の方が素淨瑠璃を気軽に楽しめる機会になっている。



事業名

## 第42回児市美術展

目的 豊かな人間性を育て、芸術・文化のかおり高いまちづくりを進めることを目的とする。

集客数	出展数 258点	席数 -	集客率 -	会場 ロフト、 ギャラリー他
	集客数 1,328人			

開催日時 令和5年11月22日(水)～11月26日(日) 9時30分～18時(26日は15時45分まで)

市民参加 企画、方針の決定(市民運営委員)

- 事業内容
- ・洋画、日本画、書道、彫塑工芸・デザイン、写真の5部門を募集した。
  - ・各部門の作品を専門の審査員により審査し、賞を決めた。
  - ・入選以上の作品を展示し、一般公開した。
  - ・各部門上位5賞(市美術展賞、市長賞、議長賞、教育長賞、光秀賞)と、高校生対象の薔薇賞を受賞した者に対し表彰式を行った。

経費状況 収入 2,510,500円 支出 2,354,362円 収益率 106.6%

- アンケート結果
- ・展示場所が広くあり、数多くの作品がゆったりと飾られており、見応えがあって本当にすばらしい美術展だと思います。毎年楽しみにしています。
  - ・今年は書の部で高校生の作品が多く出品されており、どれも素晴らしい作品でした。
  - ・市民の皆さんがあれぞれ日頃楽しんで作品作りされている姿を想像しながら拝見しています。大上段ではなく、身近なものとして美術を感じる人が多い美術展として発展してほしい。

成 果

来場者数は昨年より若干増加している。出品数は部門によってばらつきがあるものの、昨年並みである。高校生の出品が増加し、33点が出品された。

日本画は新たに軸装も出品可としたことで3点軸装の出品があった。来館者からも軸装の募集があるのであれば来年出品したいという声もある。市美術展として応募しやすい形態を模索していきたい。

昨年薔薇賞を受賞した高校生が、今年は市美術展賞を受賞した。薔薇賞の励みが今回の賞に結びついたと思われる。継続的な発表の場の重要性を感じる。



事業名

## 第31回可児市文芸祭

目的 可児市における文芸への創作意欲を高め、文芸活動の振興を図るとともに芸術のかおり高いまちづくりを進めるもの。また、朗読会を実施することを通じて、文芸作品を作るだけでなく、耳からも楽しむ機会を提供する。

集客数	応募点数 3,483点	席数 -	集客率 -	会場 ギャラリー、 演劇ロフト
-----	----------------	------	-------	-----------------------

開催日時 【展示】令和5年11月29日（水）～12月3日（日）  
【朗読会】令和5年12月3日（日）14時開演

市民参加 市民運営委員（企画、方針の決定）

### ○一般の部

短編小説、随筆、現代詩、短歌、俳句、川柳、狂俳、俚謡の8部門を一般より募集して審査。優秀賞以上の作品を会期中、ギャラリーに展示。最終日に表彰式と文芸祭賞受賞作品の朗読会を開催した。

### ○小・中学生の部

事業内容 詩・作文、短歌、俳句の3部門を市内の小・中学生より募集して審査。特選以上の作品を展示了。

一般の部応募状況：1,219人 2,304点

小・中の部応募状況：2,264人 2,264点

優秀賞以上の作品についてはギャラリーに展示し、最終日に表彰式と、受賞作品の朗読会を開催した。

朗読：鹿野真央（文学座）

経費状況	収入 1,825,000円	支出 1,598,623円	収益率 114.2%
------	---------------	---------------	------------

### 【朗読会】

アンケート結果 たいへんすばらしい朗読会だと思います。次回も来たいです。  
受付の方の対応も良く、とても良い1日でした。可児市が始められたのか、今では岐阜県、大垣市まで広がりました。すばらしい事だと思います。長く続けてください。

成 果 募集から表彰式まで滞りなく行うことができた。審査員が今年度から全員入れ替わり、途中1名が交代したが、審査は昨年同様スムーズに終了した。

成 果 一般の部は昨年度と比較して全部門増加し、過去最多の応募点数となった。メールでの応募も44名増え、応募者増につながった。小中学生の部は昨年度より344名応募者が増加した。

朗読会も開催され、来場者が昨年よりも10名以上増加した。



事業名

## 可児市ジュニア音楽祭 2023

目的 市内で音楽活動をしている子ども達が一同に発表する機会を設けることにより、音楽への関心をさらに高めるとともに、文化創造センターへの愛着を持ってもらい、音楽あふれるまちづくりに寄与する企画を開催する。

集客数 910人 席数 1,019 集客率 89.3% 会場 主劇場

開催日時 令和5年7月2日（日） 13時開演

参加料 入場無料

出演者 18歳以下の子どもが主体で、市内を主な拠点として活動している団体。

市民参加 フロントスタッフ（ala クルーズ）

### 【出演団体】

事業内容 可児市少年少女合唱団、東可児中学校吹奏楽部、広陵中学校吹奏楽部、西可児中学校吹奏楽部、中部中学校吹奏楽部、蘇南中学校吹奏楽部、帝京大学可児高等学校中学校吹奏楽部、可茂ジュニアウインドオーケストラ～Resonair～

経費状況 収入 913,000円 支出 655,547円 収益率 139.3%

- アンケート結果
- ・可児市は文化度が高く、うらやましいです。
  - ・子どもたちの音楽祭、ステキでした！
  - ・インターでいろいろな楽器について知ることができてよかったです。また、曲についてもくわしく知ることができました。楽しかったです！！
  - ・本格的な会場で中学生が発表できるのは、とってもいいですね。

成 果 市内の全中学校吹奏楽部+民間2団体の出場となった。楽屋状況を改善したため、相互鑑賞もしやすくなり、昨年よりも交流機会は増やすことができた。また、基本的には各団体関係者の来場が多い様子だったが、客席は一定数以上埋まっており、後半に向けて右肩上がりの滞在者数となっていた様子から、音楽祭自体の鑑賞者も相当数いたといえる。コンクールとは違う大きな発表の場として、出場者側からも、鑑賞者側からも期待される場であることが感じられた。



事 業 名

## 文学座アウトリーチ 文学座俳優のキッズワークショップ

目的的 文学座との地域拠点契約として、文学座俳優による本格的な子ども向け演劇ワークショップ、市民参加者と文学座演出家で作る親子向けの舞台公演を実施し、公演鑑賞事業とは違った角度から文学座の魅力に触れてもらい、新しい演劇ファンを獲得すると共に、文学座の演劇ノウハウを可児の地域へ活かして、地域の社会貢献活動を行うことを目的とする。

集 客 数	参加者 延べ 18 人 観客 32 人	席数 -	集客率 -	会場 演劇練習室
-------	---------------------------	------	-------	----------

開 催 日 時 稽古：令和5年9月30日（土） 発表：令和5年10月1日（日）

参 加 料 参加料 1,000 円

出 演 者 講師：高橋ひろし、磯田美絵（文学座）  
ピアノ伴奏：福井明日香

事 業 内 容 アーラオリジナル音楽劇『MY TOWN～可児の物語～』のワンシーンに挑戦。事前にメールで練習課題を共有し、各自練習してきもらったうえで、2日間のワークショップで完成させた。ワークショップ最終日にはご家族を招いたミニ発表会を開催した。

経 費 状 況 収入 701,794 円 支出 1,440,484 円 収益率 48.7%

（経費状況は他の文学座アウトリーチと合算）

アンケート結果

- ・初めて会った仲間と一つになって作品が演じることが出来たのが驚きました。楽しかったです。
- ・とても楽しかったです。友だちがたくさんきてうれしかったです。ありがとうございました。
- ・振り付けは難しかったけど、ひろし先生が丁寧におしえてくださったので、とてもべんきょうになりました。またこういう機会があればさんかしたいです。

成 果

当初応募者は12名いたが、体調不良等により最終的な参加者は9名となった。参加人数は前回より少なくなってしまったが、その分、参加者同士のコミュニケーションは密になったようだった。2日間の短い期間での稽古・発表というスケジュールだったが、講師の基本方針として「短い間でも、稽古から公演までやる同じ仲間同士、ひとつのカンパニーだ」という考え方方が伝わり、最終的にはお互いがフォローし合えるほどのまとまりを見せる集団となつた。参加者の満足度はおおむね高く、全員が次に参加する機会があればまた参加したいと答えていた。また、発表会を見た保護者からは、短期間での我が子の成長に驚く声も聞かれた。



事業名

## 文学座アウトリーチ 文学座カフェ

目的 文学座との地域拠点契約として、文学座俳優による本格的な子ども向け演劇ワークショップ、市民参加者と文学座演出家で作る親子向けの舞台公演を実施し、公演鑑賞事業とは違った角度から文学座の魅力に触れてもらい、新しい演劇ファンを獲得すると共に、文学座の演劇ノウハウを可児の地域へ活かして、地域の社会貢献活動を行うことを目的とする。

集客数 13人 席数 - 集客率 - 会場 ギャラリー

開催日時 令和6年1月27日（土）

参加料 全席自由 1,000円（ワンドリンク付き）

出演者 ゲスト俳優：相川春樹（文学座）

事業内容 ゲストに文学座俳優を招き、「本読み喫茶」を実施した。「劇場たいけんツアーアー」の内容に合わせて、読む台本は『MY TOWN～可児の物語～』とし、その中から3シーンを抜粋して参加者で読み合わせを行った。

「キッズワークショップ」参照（経費状況は他の文学座アウトリーチと合算）

アンケート結果

- とても楽しかったです。ぜひ継続を期待しています。
- 楽しく、緊張感もあり、相川さんのステキなお声も聴けて、大満足でした。ドリンクをいただきながらの講座もうれしかったです。初めての参加でしたが、また、参加したいなあーと思います。
- みなさんとの会話ややりとりが、とても楽しかったです。次回も参加したいです。ありがとうございました。

成 果

当初参加者数は10名と思っていたが、受付開始早々に定員に達してしまったため、会場の広さなどを考慮して、急遽参加人数を増やすことにした。参加者の満足度、継続参加の意思も高く、企画需要は充分にあるように感じた。参加者は、これまでアーラの企画に参加したことのある人はもちろん、アーラが全く初めての方、接触機会の少なかった方々も参加しており、顧客への新たなチャンネルとなりうることもうかがえた。



事業名

## 文学座アウトリーチ ala 劇場たいけんツアー

目的 文学座との地域拠点契約として、文学座俳優による本格的な子ども向け演劇ワークショップ、市民参加者と文学座演出家で作る親子向けの舞台公演を実施し、公演鑑賞事業とは違った角度から文学座の魅力に触れてもらい、新しい演劇ファンを獲得すると共に、文学座の演劇ノウハウを可児の地域へ活かして、地域の社会貢献活動を行うことを目的とする。

集客数 延べ30人 席数 - 集客率 - 会場 小劇場

開催日時 令和6年1月28日（日）10時、13時30分開始

参加料 参加無料

構成、演出：鈴木亜希子（文学座）

出演：相川春樹（文学座）

協力：福井明日香（ピアノ）、アーラまち元気部

事業内容 昨年度に行われた劇場バックステージツアー「劇場たいけんツアー」の継続実施であるが、実施規模・時期などを見直し、小劇場での実施とした。ツアー形式でアーラの建物入口から楽屋、奈落を経由して舞台、客席へと移動しながら各所の説明を行った。移動終了後は劇仕立てで、劇場スタッフの指導の下、舞台作業の一部を体験し、実際の上演も鑑賞してもらう。今回の上演内容は、秋に「キッズワークショップ」で発表された内容を、実際のワークショップ参加メンバーで実演してもらった。

「キッズワークショップ」参照（経費状況は他の文学座アウトリーチと合算）

アンケート  
結果

- ・体験と劇があわさった感じでとても楽しかったです。ツアー全体の構成が面白くてよかったです。
- ・ステージに子どもが上がってきた時に、親が観客として待っているという演出がよかったです。
- ・ツアースタッフの入念な準備と、愛の感じられるツアーだった。
- ・実際に舞台に上がり、照明や音響など本物に触れられたことは、良い経験になったと思います。ありがとうございました。

成果

各回定員いっぱいとなり、「バックステージもの」の人気の高さがうかがえた。第一目的である参加児童の満足度が高かったのはもちろん、付き添いで観ていた保護者の反応も大変良かった。更に、キッズワークショップの参加者も、最後の仕上げとして舞台出演を体験でき、充実の内容となった。また、劇場技術スタッフにとっても、簡易的な物とは言え、子ども達を直接指導する機会を得られ、貴重な経験となつた。「ハレの舞台」という言葉が差すような、日常からは浮いた印象を持たれがちな劇場ではあるが、こうした企画によって、人が働く日常がある「人間の家」として、身近に感じてもらうことができた。



事業名

## おでかけ落語会

目的 プロの落語家が市内の学校に出向いて落語会を実施。落語を生徒に聞いてもらうだけでなく、扇子を使った表現などを実演しながら解説するなど、日本が誇るべき伝統話芸の魅力や表現の奥深さを伝える。

集客数 973人 席数 - 集客率 - 会場 市内中学校、高校

開催日時 令和5年6月6日(火)～6月9日(金)

参加料 無料

出演者 桂やまと(落語家)

落語家・桂やまとが市内の中学校に出向いて落語のワークショップをおこなった。落語を聞くだけでなく、扇子を使った表現などを実際に体験する機会を設けた。

事業内容  
6月6日(火) 東可児中学校 2年生3クラス  
7日(水) 中部中学校 2年生7クラス  
8日(木) 蘇南中学校 2年生9クラス  
9日(金) 西可児中学校 1年生4クラス  
可児工業高等学校 1年生5クラス

【ネタ】  
子ほめ

経費状況 収入 150,573円 支出 321,180円 収益率 46.9%

【先生】

- ・生徒たちが目を離さずにずっと話を、手の動きを見ていたのが印象的でした。
- ・嘶家さんのメッセージ性の強い最後の言葉もあり、子ども達が将来やこれから学校生活をどうしていくかを考えるきっかけになってくれるといいなと思っています。

【生徒】

- ・やまと師匠が言っていたように、相手の気持ちを想像すること大切にしようと思った。私も落語やってみます。みんなを笑顔にしたいです。
- ・見る前は落語って面白いの?と思っていたけど、見てみたらとっても面白くて笑いがとまらなかったです。また、手ぬぐいとせんすだけで、あんなにも表現できるのがすごいなと思いました。

成 果 昨年度に続いて2度目の実施となった。当日の運営については前年の反省点を活かし、ほぼ完成した形となった。内容についても9割以上が「満足」と回答しており、また複数校の先生から、昨年参加した生徒から「また聴きたかった!」という声を聞いたという報告も来ており、内容の満足度、体験の印象深さがうかがい知れた。初実施となった高校では、基本的な内容はそのままに、話し方や盛り上げ方を中学生向けとは多少修正を加えており、講師の対応力の高さ、事業に対する真摯さがよく分かった。高校生の中には参加が2度目となる生徒もいたが(アンケートで発覚)、ネタが同じでも満足度は高かった様子であった。



事業名

## おでかけAGライブ

目的 シンガーソングライターによる「おでかけ AG ライブ」を実施し、ギターの弾き語りでメッセージを届けることで、音楽の素晴らしさやギターの魅力を伝え、子どもたちの希望や勇気を引き出し、夢を後押しするようなライブを提供する。

集客数 411人 席数 - 集客率 - 会場 中部中学校

開催日時 令和5年6月13日(火)、14日(水)、7月7日(金) 6回

参加料 無料

出演者 シンガーソングライター あつ

可児市が世界に誇るギターブランド、ヤイリギターのモニターアーティストであり、東海エリアを拠点に活動を続けるシンガーソングライター、あつによる「おでかけ AG ライブ」を中学校にて実施した。

事業内容 シンガーソングライターとして歌に込められた熱い思いや自身の様々な経験などのトークを交えながら、直接アーティストが生歌を届けるという、ライブを盛り上げていただけた。あつの飾らない等身大の人柄と自身の歌手として何度も挫折しそうになった経験談、そしてそこで生み出された歌が生徒さんにストレートに伝わった。

経費状況 収入 69,101円 支出 140,270円 収益率 49.3%

アンケート結果  
・はじめてシンガーソングライターの生歌を聞いて、とても歌への気持ちが伝わって感動した。僕も夢に向かって諦めず頑張りたい。  
・あつさんのエピソードや曲を聞いて、悩んでいたけど、前向きになれた。  
・とてもたのしかったし、お話しもすごくためになった。私も自分らしさだったり、周りの人を大切にすることにしたい。

成果  
これまでコロナ禍で音楽の授業でも歌を歌うことさえも出来なかったこともあり、直接アーティストが生歌を届けるという本企画に感動し、どの回も集中して音楽を聴いてもらうことができた。

またアンケートの満足度では「とても満足」「少し満足」92%を達成した。元気がでましたかの質問に「はい」が89%を達成した。



事業名

## みんなのディスコ 2023

目的 障がいのある方は、コロナ禍の影響から施設や自宅などに引きこもりがちな生活環境にあり、公の場所で音楽や演劇、映画、ダンスなど芸術を楽しむ機会が少ないので現状である。障がい、国籍、年齢、性別、全ての垣根を越えて、音楽で繋がる場所を提供することで、社会的な自立と生きがいを創出し、また、障がいのある方と健常者の相互理解と交流を育むことで、偏見や差別のない街づくりに寄与する。

集客数	延べ 436人	席数 -	集客率 -	会場	音楽ロフト、 演劇ロフト、 美術ロフト
-----	------------	------	-------	----	---------------------------

開催日時 令和5年6月18日（日） 14時開始

参加料 入場無料

出演者 川名洋行、うたのギリギリおにいさん、多治見西高校ダンス部、BANANA blossom & Clitolia Joroe（バナナ&クリトリア）、JOY☆UP、RYU  
【協力】可児地区更生保護女性の会10名、ごちゃまぜアートの会3名、岐阜大学地域科学部学生10名、市民サポーター14名

事業内容 音楽とダンスを通じて、障がい、国籍、性別、世代など、あらゆる垣根を越えて人々が気軽に交流できる場を設けた。  
①仮装・フェイスペイント等 ②DJタイム① ③オープニングアクト 多治見西高校ダンス部④ショータイム BANANA blossom & Clitolia Joroe（バナナ&クリトリア）／JOY☆UP／RYU  
⑤ファッションショー MC：BANANA blossom & Clitolia Joroe ⑥短冊サプライズ  
【関連企画】ごちゃまぜアートの会と連携し、「織姫☆彦星☆ジブン星！？世界に一つ自分星を作ろう！」を実施し、当日会場に飾る傘を作成した。参加者へのPRだけでなく「七夕」というテーマに関連して、その世界観を演出した。

経費状況 収入 167,522円 支出 301,427円 収益率 55.6%

アンケート結果 地域の人たちと楽しく活動ができた。  
有意義な時間でした。一緒に参加した子供は知的の障害がありますが初めての経験で、どんなことなのかわからないながらも、集まっている方たちの思いつきり楽しんでいる空気を感じて自然に溶け込んでいって、キラキラした目でたのしそうにしていました！温かさと激しさとエネルギーを感じ、とても有意義な時間がすごせました。企画していただき、ご尽力してくださった皆さんにお礼を申し上げます。ありがとうございました。

成果 イベントとしては、予想を上回る入場者となった。アンケートの結果からも質的にも満足度の高いイベントであったとわかる。事前の関連企画ワークショップも、点ではなく線としての事業になった意味で効果があった。  
アンケートのコメントからも、ごちゃまぜアートの会、更生保護女性の会、岐阜大学、可茂学園、市民サポーターなど、普段関わる人が無い人たちを繋げて化学反応を狙ったことが、多種多様な参加者のイベントとなり効果があったことがわかる。多様性を感じることができる場は、日常的にあまりないので共生社会の実現に寄与できたといえる。



**事 業 名****平田オリザの「対話を考える」モデル授業  
教職員対象ワークショップ**

**目 的** 平田オリザによる演劇的な教育手法を学校という教育現場に用いることにより、子ども達のコミュニケーション能力の向上を図ることを目的とする。

集 客 数	モデル授業 22 人 教職員 35 人	席数	-	集客率	-	会場	レセプション ホール
-------	------------------------------	----	---	-----	---	----	---------------

**開 催 日 時** 平田オリザ：令和5年7月28日（金）、教職員：令和5年7月31日（月）

**参 加 料** 無料

**参 加 者** 市内および近隣市町村の小中学校に勤務する教員、教育に関わる市職員

**講 師** 平田オリザ（劇作家・演出家）、Ten seeds（劇・あそび・表現活動）

劇作家・演出家で、教育・文芸・言語などあらゆる分野で活躍する平田オリザ、市内小学校でのクラス単位ワークショップを行っているTen seedsを講師に迎え、市内小中学校の教員等を対象とした演劇手法に関するワークショップ&講義を行った。

**事 業 内 容**

[内容]

①教職員向けワークショップ（4年目＋希望者22人）

時間：10:00～16:00

②教職員向けワークショップ（2年目＋希望者35人）

**経 費 状 況**

収入 68,143円

支出 151,020円

収益率 45.1%

**アンケート  
結 果**

- ・新学期に緊張する児童を和ませられるので、コミュニケーションゲームを9月から活用したい。
- ・集団生活が苦手な子もいるが、「居場所を与える」ことで自信に繋がっていくというお話が心に残った。
- ・協働的な学習のために、どの児童も所属感や満足感を得られるゲーム感覚の学級活動や、他者に教える時間の充分な確保について今後務めていきたいと思った。

**成 果**

受講者アンケートにおいて「学級運営課題」では、「自分でもできた！やれた！楽しい！」と思えるようにする、仕掛けについてなど、「子ども達が抱える課題」では、「他人の痛みが分からない。自分の考えを伝えようとしない。失敗を恐れてしまう。関係性の固定化」などが挙げられていた。今回の講座では、演劇表現を活用することでの「人為的役割のシャッフル」や「バラバラな価値観をアウトプットしての個性の生かし方」、「他者の疑似体験」、「協働のクラスづくり」など活動事例が解説付きで紹介されたため、アンケートでは100%の受講者が「今後の学級運営に生かしたいことがあった」と回答した。



事 業 名

## まちが元気になる処方箋

目 的 地域の公共劇場として進むべき方向性を、市民と職員が共有する機会とし、今後の公共劇場はどのような役割を地域社会から求められるのか、現代の劇場が抱える様々な課題も視野に入れながら考え、市民と共に議論を深め、学ぶことを目的とする。  
今回は「ala まち元気プロジェクト」の取組みを紹介しながら、今後の展開を検討する機会とする。

参 加 者 数 43 人 席数 91 集客率 47.3% 会場 映像シアター

開 催 日 時 令和 5 年 7 月 28 日 (金) 18 時 30 分開演

参 加 料 全席指定 500 円

出 演 者 森合音 四国こどもとおとなの医療センター ホスピタルアートディレクター、N P O アーツプロジェクト代表  
平田オリザ 劇作家、演出家、兵庫県公立大学法人芸術文化観光専門職大学学長  
ホスト：籠橋義朗 可児市文化創造センター ala 館長

事 業 内 容

- ・はじめに「ala まち元気プラットフォーム」の構築に向けて
- ・事例紹介『三年目を迎える豊岡演劇祭・芸術文化観光専門職大学』  
『医療とアート”こどもとおとなの医療センター”の試みの舞台裏』
- ・座談会・質疑応答「教育・観光・医療 文化芸術を活かした多世代交流から生まれる《地域》の活力」

経 費 状 況 収入 81,927 円 支出 135,100 円 収益率 60.6%

アンケート 結 果

- ・作品だけでなく、クリエイティブな活動も含めて「病院」を全員で作るということがアートという話の中で、「 」にはいろんな言葉が置き換えられると思いました。日々の生活の中でも、『問題点を共有するだけで、その場では解決しなくとも意識するようになり、意識することで変化につながる』という言葉を大切にしたいです。
- ・多分野の人が集まるサービスリーダー会で、仕事以外の新しい才能が発掘され、そこにスタッフがやりがいを感じたり、受け手側に喜びを感じてもらうという話がとても印象的でした。関わる人が皆うれしくて、居場所作りにつながりそうです。

成 果

チケット購入者は設定数の半数を下回る結果となつたものの、入場者の割合は声をかけた「既に劇場に関わりのある市民」が多い様子であった。つながりを生むアートを基軸に医療施設、観光と大学といった事例を紹介するゲストトークには難解な部分もあったが、ゲストのキャラクターで話に引き込まれたり、話題の中で出た「居場所づくり」や「ちょっとした工夫で風通しのよくなる関係性」など、自身が普段活動しているフィールドと近しいものを感じた参加者もあり、劇場が持つつながりが新たな気づきを生んだ会となつた。



事業名

## アーラ未来の演奏家プロジェクト 2023

目的 若手演奏家が市民と直接交流し、演奏家の人の柄を知りながら身边に音楽を体験することにより、音楽の持つ魅力を広げる。5日間という可児滞在期間中に様々なコミュニティプログラムを展開することで、演奏家が可児市に思い入れが芽生えつつ技術研鑽の時間となることを目的とする。

集客数	375人、 劇場公演 51人	公開リハーサル等	席数	-	集客率	-	会場	美術ロフト、 小劇場、 市内小学校 他
-----	----------------------	----------	----	---	-----	---	----	---------------------------

開催日時 令和5年7月5日（水）～9日（日）

チケット 公開リハーサル他 無料 コンサート 全席自由500円

出演者 ヴァイオリン：菊池武文、ピアノ：下村彩菜、コーディネーター：佐野秀典

実力派演奏家が可児市に5日間滞在し、小学校への出前授業、公開リハーサルやロビー・コンサート、個人レッスンなど様々な企画を織り交ぜ、市民と交流を重ね、最終日に集大成となるコンサートを開催した。  
事業内容  
7月5日（水）ロビー・コンサート、公開リハーサル、ウェルカムコンサート  
7月6日（木）小学校おでかけ授業、はじめての体験コンサート、公開リハーサル、公開レッスン  
7月7日（金）小学校おでかけ授業、公開リハーサル、ミライ・カフェ  
7月8日（土）ロビー・コンサート、レクチャー付き公開ゲネプロ  
7月9日（日）ワンポイント・レクチャー、未来の演奏家コンサート

経費状況 収入 282,759円 支出 559,129円 収益率 50.6%

アンケート結果  
【おでかけ授業】  
・初めてバイオリンを1mくらいのちかさで見れて、すごいなあと思いました。ピアノをさわったら、思ったよりゆれすごいです。  
・演奏の人たちといっしょにラバーズコンチェルトをひけて楽しかったです。  
【アーラ未来の演奏家コンサート】  
・一流の演奏家による音楽を身近な地元で触れ合うことができる素晴らしい企画だと思います。毎年楽しみにしていますので、今後も長く続けて下さい  
・アンサンブルがとても息ぴったりで、初日に初めて顔合わせときいて驚きましたが、公開リハーサルや出張授業で何度もつみかさねたときき、納得しました。すてきな演奏をありがとうございました。

成 果  
コロナ禍も明け、ロビー・コンサートや公開リハーサルといった催しは昨年以上の人が参加するようになった。おでかけ授業でもリコーダーを使った合奏ができるようになり、春里小では音楽室の楽器で全員で合奏を行い、これまで以上に児童との交流を深めることができた。

また、はじめての体験コンサートではハンドスオブガッドの子ども達や社会福祉施設「優が丘」の人たちが参加し、音楽の魅力を知ってもらえる機会を提供することができた。

ミライ・カフェでは長らくできなかった茶話会を実施でき、演奏者と会話を楽しむ光景が見られた。

演奏者の2人は今回初めての「未来の演奏家プロジェクト」だったが、演奏を通じて可児市民とつながりを持つことができ、音楽の新たな可能性を見出すことができたようだった。



## 事業名

## 新日本フィル・カフェ

目的的 アーラと地域拠点契約を結んでいる新日本フィルハーモニー交響楽団のメンバーが、普段コンサートに足を運ぶ機会の少ない市民にも気軽に足を運んでもらえるコンサートを開催するとともに、演奏者との交流を通じて新日本フィルを身近に感じてもらえる機会を提供する。

参加者数	109人	席数	-	集客率	-	会場	音楽ロフト
------	------	----	---	-----	---	----	-------

開催日時	令和5年6月3日（土）、12月24日（日）ともに	13時開演、15時30分開演
------	--------------------------	----------------

チケット	全席自由	一般	1,500円	25歳以下	750円
------	------	----	--------	-------	------

出演者	6月3日 ビルマン聰平（ヴァイオリン）、山本珠里杏（ヴィオラ） 12月24日 野津雄太（フルート）、岡北斗（オーボエ）、瀧本千晶（クラリネット）、河村幹子（ファゴット）、日高剛（ホルン）
-----	--

音楽ロフトで室内楽コンサートを開催し、コンサート中に演奏者と市民が交流できる場として、また、12月24日はコンサートでクリスマスにふさわしい曲を演奏するとともに、コンサート中に演奏者と市民が交流できる場として、新日本フィルカフェを実施した。

## 【プログラム】

事業内容	6月3日（土） クライスラー：愛の喜び／モーツァルト：ヴァイオリンとヴィオラのための二重奏曲 ト長調 K.423 より 第1楽章／ハルヴォルセン：パッサカリア、ピアソラ：リベルタンゴ 12月24日（日） アンダーソン：舞踏会の美女／ロジャース：「サウンド・オブ・ミュージック」メドレー／ドビュッシー：小組曲、アンダーソン：そりすべり
------	---

経費状況	収入 496,985円	支出 874,094円	収益率 56.9%
------	-------------	-------------	-----------

アンケート結果	・新日本カフェはいい企画です。緊張感もなく楽しく聴ける雰囲気です。演奏の方との距離感もなく、トークも楽しかったです。次回も来たいと思います。 ・今日のような気楽に音楽とかお芝居とか文化的なことが楽しめる機会を作って欲しいです。 ・普段のコンサートでは、オーケストラの一員で遠くにいて顔もよく分らずに演奏を聞いているが、今日のような会では、その団員の方の人となりまで分かり、オーケストラに対する親しみがもっともっとわいてよかったです。
---------	--

アーラでは初となる試みで、地域拠点契約を結んでいる新日本フィルのメンバーと交流を深めるとともに来場者同士が感想を述べ合うなど人と人とのつながりを醸成する目的で行われた。

アンケートでは1回目は70%近くの人が、2回目は74%の人が「大変良い・良い」と回答しており満足度の高い企画となった。

成果	アンケートの感想でも「良い企画で、今後も続けてほしい」「こんなに近くで演奏が聴けて幸せです」など好意的な意見が多数聞かれ、一定の成果が挙げられたと思われた。
----	--

演奏だけでなく新日本フィルのメンバーが来場者からの質問に答えたり、終演後も来場者との歓談や記念撮影に応じるなど、メンバーとの交流という目的は達せられたようだった。



## 4 共催事業 事業報告

事 業 名

### 音楽家の集い Vol.77 ~ 80 おやこでうたうコンサート

目 的 難解で高価であるというイメージを持ちクラシック音楽から足を遠ざけている市民を、奏者と観客が近い空間を作ることで、一体感を感じていただき、また手頃な値段をきっかけに気軽に鑑賞できる機会を提供する。

集 客 数 466 人 席数 731 集客率 63.7% 会場 音楽ロフト

開 催 日 時 下記参照

チケット 【おやこでうたうコンサート】全席自由 一般 800 円 中学生以下 500 円  
【音楽家の集い】 全席自由 800 円

出 演 者 下記参照

市 民 参 加 フロントスタッフ (ala クルーズ)

#### 【音楽家の集い】

- 6/10 (土) vol.77 古井麻美子、松下寛子 ファンタスティックコンサート!  
10/28 (土) vol.78 野口夏菜、趙知奈、福田紗永 トリオで奏でる秋の調べ  
1/13 (土) vol.79 工藤雄司、首藤友里 クラリネットとピアノで奏でる癒しの旋律  
3/23 (土) vol.80 古井麻美子、松下寛子 スプリングコンサート

事 業 内 容

#### 【おやこでうたうコンサート】

- 6/10 (土) 鶩見真純、古井麻美子、松下寛子  
10/28 (土) 野口夏菜、趙知奈、福田紗永  
1/13 (土) 鶩見真純、工藤雄司、首藤友里  
3/23 (土) 鶩見真純、古井麻美子、松下寛子

経 費 状 況

収入 50,865 円 支出 98,930 円 収益率 51.4%

#### 【音楽家の集い】

- ・気軽に質の良い音楽を聴ける贅沢な時間を過ごすことができました。ありがとうございました。  
・オペラ、初めてです。感動、大迫力です！！説明していただいてその後に聴くと、とても良かったです。前半の最後の曲、後半からテンポが変わって10分、長いと言われていましたが最高でした。

アンケート  
結 果

#### 【おやこでうたうコンサート】

- ・とてもよかったです!!本物の音楽に触れさせたいと思っても、なかなか小さい子が入れるコンサートは多くないので、小さい子が聴けるコンサートは本当にありがたいです。しかもこういうのを名古屋とかじゃなくて、可児でやってもらえるのがうれしい!!1ヶ月に1回開催して欲しいぐらいです!!

成 果

開館当初より続いてきた共催事業が、コロナ禍による3年の中止期間を経て復活した。以前は開催日を分けていた「おやこでうたうコンサート」と「音楽家の集い」を午前／午後の開演時間で同日開催する形とした。地元のアーティストを活用してコンパクトかつコンスタントに開催されるコンサートは待ち望んでいた声が多かった。特に、0歳から入場できる「おやこでうたうコンサート」は、近隣他館でも実施数が少ないため、毎回活況で、感謝の声が寄せられた。



事 業 名

## 鼓童「いのちもやして」

目 的 クラシック音楽、寄席、演劇が鑑賞事業の定番ジャンルの中で、幅広いジャンルの鑑賞機会を提供するため、和太鼓演奏は市民にとっても観賞機会の少ないジャンルである、和太鼓集団の可児公演を実施する。また、大太鼓は男性がこれまで勤めていたが、今回は女性が挑戦することで、女性のしなやかさや逞しさを表現する。

集 客 数 715 人 席数 1,020 集客率 70.1% 会場 主劇場

開 催 日 時 715 人 席数 1,020 集客率 70.1% 会場 主劇場

チ ヶ ッ ト 全席指定 一般 6,000 円 25 歳以下 3,000 円

出 演 者 太鼓芸能集団 鼓童

市 民 参 加 フロントスタッフ (ala クルーズ)

### タイトル「いのちもやして」

太鼓を打つことに己の人生を掛け、離島佐渡島で、ひたすら太鼓と向き合い磨き上げた演奏技術で世界を魅了する、アーラでは5年ぶりの公演となる、太鼓芸能集団「鼓童」による公演を共催で実施した。

【プログラム】ルビコン／四方／星影／よあわせ／鼓童幻想／寄譚／天鱗／蒼炎／大太鼓／兆  
【アンコール】テンケ／ルビコン

経 費 状 況 収入 517,680 円 支出 7,898 円 収益率 6554.6%

- アンケート結果
- ・鼓童、目をつぶり聞くと、響きが恐ろしさを感じるくらいです。そして涙が出ました。演出も素晴らしいです。力強さ感動！元気いただきました。
  - ・今回の鼓童本当にすごかった！大太鼓の米山水木さん、本当にすごい人。良い演奏を本当にありがとうございます！！
  - ・鼓童の公演とても楽しみにしていました。コロナ禍なかなか公演も出来なかったと思います。太鼓の響きを感じながら迫力と共に楽しめました。

成 果 鼓童は世界的に活躍する和太鼓演奏集団として優れた演奏技術と集団のアンサンブルが持ち味であり、この一流の和太鼓演奏をアーラで5年ぶりに実施出来たことはクラシックや演劇、寄席が主流のジャンルの中で市民にとっても貴重な鑑賞体験となった。集客目標500人を上回り715人となり、注目の高さがうかがえる。また内容でも大太鼓に女性を起用した鼓童公演としても挑戦的な作品創作であったが、それが奏功し、女性をメインにした新たな和太鼓の可能性を広げる公演であった。共催公演として費用面でも収益を上げることが出来たもの成果のひとつである。



事業名

## ウィーンV.ルジェリウスピアノ三重奏団

目的  
敷居が高いと捉えられがちなクラシックコンサートを気軽に親しんで頂く機会として実施する。ウィーン仕込みの演奏と、曲の背景やウィーンの文化に関するトークで、一定のリピーターとなる観客に加えて、初めてのクラシックコンサートの鑑賞者にも満足感が得られるものとする。

参加者数 238人 席数 311 集客率 76.5% 会場 小劇場

開催日時 令和5年7月22日（土） 14時開演

チケット 全席指定 一般 2,000円 25歳以下 1,000円

出演者 ウィーン V.ルジェリウスピアノ三重奏団

市民参加 フロントスタッフ (ala クルーズ)

息のあった演奏と、演奏曲やウィーンの文化などについての楽しいトークで、クラシック音楽を身近に感じることができるコンサートを開催した。

事業内容  
【プログラム】エルガー：愛のあいさつ／J.ブラームス：ハンガリー舞曲第6番／マスネ：タイスの瞑想曲／ヨハン・シュトラウスⅡ：ポルカ・シュネル「憂いもなく」／ヨハン・シュトラウスⅡ：ワルツ「南国のバラ」／シューマン＝リスト：献呈／アイルランド民謡：ロンドンデリーの歌／クライスター：愛の喜び／ドヴォルジャーク：スラヴ舞曲 作品72 第2番／ヨハン・シュトラウスⅡ：ポルカ・シュネル「トリッチ・トラッチ」／ヨーゼフ・シュトラウス：ワルツ「天体の音楽」

経費状況 収入 53,400円 支出 38,935円 収益率 137.2%

アンケート結果  
・森川夫妻が醸し出す柔軟な雰囲気に古楽器の音色が合わさり、そこに黒木さんの華やかなピアノが加わり、とても質の高い室内楽を聴くことができました。3人の音の掛け合いか素晴らしい、プログラムも誰もが知っている曲から、思わず身体を動かしてしまうワルツが並び、一曲ずつがそこまで長くなく、聞きやすい編成でした。  
・森川耕太さんのトークが知識として入ってきながら、ユーモアもあり、テンポよくプログラムを楽しむことができました。リラックスした演奏スタイルで、ウィーンの優雅な空間を感じることができました。

成果  
本場ウィーンの音楽や雰囲気に触れる能够ができる場を提供することができた。入場者が前年度174人から238人と増加し、目標を達成できた。満足度も94%と高かった。比較的安くクラシックコンサート聴ける公演であり、演奏曲も聴きなじみがある曲が多く満足度が高い。「シリーズ恋文」や市民参加事業などの他のアーラの事業でも関わっていただいている可児市のピアニスト黒木由香のファンになっている方も増えてきており、集客につながっている。



事 業 名

## 小林浩平の "FUN" TASTIC !

目 的 中国、ヨーロッパ、アメリカなど国際的に活躍しているマジシャンの小林浩平によるマジックショーを共催公演として取り上げる。これまで実施していない質の高いマジックショーをクリスマスシーズンに公演することで、家族で楽しむ機会を提供すると共に、新規顧客の獲得を目指す。

集 客 数 295 人 席数 295 集客率 100.0% 会場 小劇場

開 催 日 時 令和5年12月16日（土）13時30分開演

チ ケ ッ ト 全席指定 一般 2,000円 25歳以下 1,000円

出 演 者 小林浩平

市 民 参 加 フロントスタッフ (ala クルーズ)

マジシャン、小林浩平のワンマンショー。

トークを交えながら様々な手品を披露する。時に客席から舞台上へ観客を上げたり、自らが客席へ降りて行ったりしながら、会場全体の一体感を作り出していく。最後には、入場時に全員配布したbingoカードを使ったbingo大会も実施した。

アーラ初挑戦のジャンルではあったが、内容と対象から開催時期を検討し、クリスマスを絡めることで家族で楽しめる印象を深めた。

経 費 状 況 収入 71,250円 支出 370円 収益率 19256.8%

- アンケート結果
- ・本公演は久し振りに童心にかえり楽しみました。
  - ・初めてのマジックショーでずっとワクワクして楽しかったです！本当に魔法のように感じて不思議がいっぱいでした。最高の体験でした！！
  - ・とてもおもしろかったです。初めてこのような公演をみて、テレビでやっているようなものとはまったく違う感覚になりました。
  - ・大変良かったです。またこういうマジックショーがあると良いですね。

成 果 時期に親子で鑑賞できる公演だったことが好影響を与えていたようだった。また、小林は海外でも活躍するマジシャンだが、可児とも縁が深く、新聞にも比較的大きく取り上げてもらえたこともよかったです。



## 5 その他公益目的事業

事 業 名

私のあしながおじさんプロジェクト

目 的 地元企業・団体・個人から寄付を募り、それをもとに中高生へ舞台芸術に触れる機会を創出する。また、可児市「要保護及び準要保護児童生徒就学援助費」または「児童扶養手当」を受給している家族（小学生以上の子どもと保護者）を対象とした「私のあしながおじさんプロジェクト For Family」を市教育委員会、市福祉支援課協力のもと実施し、社会的弱者である家庭へ舞台芸術鑑賞機会を用意することで、社会包括機関としてのアーラの役割を果たす。

- 対 象 事 業
- ①新日本フィルハーモニー交響楽団メンバーによるオープン・シアター・コンサート
  - ②ウィーンV.ルジェリウスピアノ三重奏団
  - ③かに寄席（納涼）
  - ④佐渡裕＆新日本フィルハーモニー交響楽団
  - ⑤森山威男ジャズナイト 2023
  - ⑥ala Collection シリーズ vol.14『フートボールの時間』
  - ⑦反田恭平プロデュース ジャパン・ナショナル・オーケストラ
  - ⑧文学座公演『五十四の瞳』
  - ⑨シリーズ恋文 vol.13
  - ⑩マイ・ラスト・ソング
  - ⑪上原彩子＆神尾真由子 DUOリサイタル
  - ⑫鼓童『いのちもやして』
  - ⑬ウィーン・フォルクスオーパー交響楽団 ニューイヤー・コンサート 2024
  - ⑭かに寄席（初席）

あしなが  
おじさん 15社（者）  
(株) 中日総合防災、カヤバ(株)、市原産業(株)、長江興産(株)、(株) 新和建設美濃加茂支店、(株)  
大幸住宅可児工房、(株) ワンズプランニング、丸茂電機(株)、(株) トイ・ファーム、可児金融協会、  
東濃信用金庫、ヤマハサウンドシステム(株)、(株) 三菱UFJ、個人2件 (順不同、敬称略)

参 加 者 鑑賞者 延べ234人

事 業 内 容 企業・団体・個人から寄付をいただき、その金額分を公募した中高生、学校へ行きたくても行けない子どもたちの通うスマイルinguームの児童・生徒、就学援助費・児童扶養手当を受給する家庭にチケットとしてプレゼントし、公演を鑑賞していただいた。また、鑑賞後子どもたちからあしながおじさんへ毎回手紙を書いていただいた。

経 費 状 況 収入 966,258 円 支出 745,289 円 収益率 101.5%

- アンケート  
結 果
- 【鼓童 いのちもやして】
    - ・音に迫力を感じるとともに、見ていてとても楽しかったです。大勢で演奏するときに一体感とひとりで演奏する時の緊張感があり、夢中になって見ることができました。（高校1年生）
  - 【かに寄席 納涼】
    - ・弟と一緒に楽しみにしていました。どの人も人ととの演じ分けが上手で、頭にその光景が浮かびました。（小学6年生・For Family）
  - 【ウィーン・フォルクスオーパー交響楽団 ニューイヤー・コンサート2024】
    - ・音楽を聴いてこんなに楽しい気持ちになったのは初めてできた。音楽を聞くと、とても明るい気持ちになれるんだなと思いました。みんなで手拍子をして音楽が創り上げられていくのが楽しかったです。（中学2年生・For Family）

成 果 前年度と比較して2倍近い児童・生徒を招待することができた。協賛企業・団体・個人の数は過去に寄付のあった企業等に営業活動を行い、コロナ禍以前の数に近づいている。さらに、三菱UFJ銀行主催の社会貢献プロジェクト「MUFG SOUL」に選ばれ、寄付金に加え、三菱UFJ銀行多治見支店の社員の皆さんに「私のあしながおじさん」に関わる仕事（チケット渡し等）を体験してもらうことができた。寄付金から「アーラみんなのピアノプロジェクト」「アーラまち元気部」などの子どもたちの文化・芸術を通した体験活動に充てることで、支援の幅がより広がったといえる。各公演の「あしながおじさんへのお礼の手紙」を見ると、リピーターの鑑賞者も多く、「6年かけて様々な公演を楽しむことができた」というような声もあり、長年に渡ってalaで文化・芸術に触れ合っている鑑賞者が年々増えてきていると感じた。



## 6 新聞掲載記事

掲載日		掲載紙	掲載事業
令和5年	4月15日	岐阜新聞	「佐渡裕&新日本フィルハーモニー交響楽団」 新日本フィル、アーラで公演
令和5年	6月16日	朝日新聞	ala公演情報（かに寄席、五十四の瞳）
令和5年	7月14日	中日新聞	「みんなのディスコ」可児で催し
令和5年	7月21日	中日新聞	「エイブルアート展」可児で障害ある作家のアート展
令和5年	9月6日	中日新聞	「森山威男ジャズナイト」 世界的ドラマー・森山さん 16日可児でライブ
令和5年	9月8日	朝日新聞	ala公演情報（森山ジャズナイト、B I G I N、上原&神尾DUO）
令和5年	9月26日	岐阜新聞	「フートボールの時間」来月上演
令和5年	9月26日	毎日新聞	「多文化共生事業」「多国籍市民」が作る演劇
令和5年	10月1日	中日新聞	「フートボールの時間」 可児で俳優が稽古、18日から公演 全国6カ所へ
令和5年	10月4日	朝日新聞	「フートボールの時間」大正のサッカー描いた演劇 18日から上演
令和5年	10月5日	中日新聞	「フートボールの時間」岐阜・可児の劇場が製作/演出・瀬戸山美咲
令和5年	10月14日	中日新聞	可児で18日～22日「フートボールの時間」
令和5年	10月28日	読売新聞	「フートボールの時間」 現地滞在型の演劇製作「地方から発信」高い評価
令和5年	10月29日	朝日新聞	かに寄席広告
令和5年	11月9日	朝日新聞	記者押し 「フートボールの時間」
令和5年	11月11日	新婦人しんぶん	「フートボールの時間」文化情報
令和5年	11月21日	岐阜新聞	「可児市美術展」 あす開幕
令和5年	11月21日	中日新聞	「可児市美術展」 あす開幕
令和5年	12月2日	中日新聞	「可児市文芸祭」受賞者決まる あすまで作品展示
令和5年	12月24日	中日新聞	「"FUN"TASTIC!」世界で活躍 マジシャン小林さん
令和6年	1月18日	岐阜新聞	「アーラ・キネマ俱楽部」
令和6年	2月22日	中日新聞	「オーケストラで踊ろう！」可児響演奏バックに躍動ダンス
令和6年	3月20日	朝日新聞	「音楽の絵本・Brillante」公演情報

## 7 アーラフレンドシップ会員集計表

令和6年3月31日現在

(1) 地域別集計表

(単位：人)

岐阜県	令和4年度	令和5年度	増減	愛知県	令和4年度	令和5年度	増減
可児市	6,400	6,835	435	名古屋市	1,059	1,229	170
美濃加茂市	1,207	1,302	95	犬山市	526	563	37
多治見市	1,358	1,474	116	春日井市	269	299	30
加茂郡	883	940	57	江南市	103	118	15
可児郡	562	595	33	一宮市	153	175	22
各務原市	545	600	55	小牧市	137	153	16
岐阜市	481	533	52	その他	1,062	1,231	169
土岐市	303	330	27	愛知県計	3,309	3,768	459
関市	299	329	30				0
瑞浪市	75	86	11	他県計	1,431	1,604	173
大垣市	73	83	10				
美濃市	36	40	4	合計	17,424	19,039	1,615
中津川市	78	83	5				
恵那市	50	53	3				
その他	334	384	50				
岐阜県計	12,684	13,667	983				

(2) 男女別集計表

(単位：人)

年齢構成	令和4年度			令和5年度				増減		
	男	女	計	男	女	計	構成比	男	女	計
0～9歳	4	3	7	4	4	8	0.04%	0	1	1
10～19歳	27	48	75	32	63	95	0.50%	5	15	20
20～29歳	112	313	425	140	372	512	2.69%	28	59	87
30～39歳	435	1,026	1,461	478	1,169	1,647	8.65%	43	143	186
40～49歳	1,006	2,525	3,531	1,077	2,752	3,829	20.11%	71	227	298
50～59歳	1,415	2,453	3,868	1,551	2,810	4,361	22.91%	136	357	493
60～69歳	1,694	2,207	3,901	1,830	2,447	4,277	22.46%	136	240	376
70～79歳	1,432	1,518	2,950	1,504	1,585	3,089	16.22%	72	67	139
80～89歳	458	564	1,022	467	571	1,038	5.45%	9	7	16
90歳以上	67	117	184	67	116	183	0.96%	0	△ 1	△ 1
合計	6,650	10,774	17,424	7,150	11,889	19,039	100.00%	500	1,115	1,615

## IV 施設概要

# 可児市文化創造センター a | a 施設概要

<b>■施設の規模</b>	敷地面積 35,344.54 m <sup>2</sup>
	建築面積 8,743.29 m <sup>2</sup>
	延床面積 18,410.87 m <sup>2</sup>
	構造 鉄筋コンクリート造及び鉄骨造、鉄骨鉄筋コンクリート造
駐車台数	437 台 一般 388 台、身障者用 4 台 関係者用 21 台（うち大型用 4 台）、身障者用 3 台 レストラン 一般 19 台、身障者用 2 台

**■施設の特色** 二つの多目的ホールと様々な文化創造空間・練習施設を持ち、建設・運営に市民参加を取り入れた総合文化施設

## ■客席収容人数

### 主劇場（宇宙のホール）

客席総数	1,019 席
	1 階席 691 席
	2 階席 161 席
	3 階席 167 席
オーケストラピット使用時	876 席
	1 階席 548 席
	2 階席 161 席
	3 階席 167 席

この他に車椅子席 4 席

### 小劇場（虹のホール）

客席総数	311 席
	1 階席 263 席
	2 階席 48 席
スラストステージ使用時	221 席
	1 階席 173 席
	2 階席 48 席

この他に車椅子席 2 席

## ■諸室

部屋	面積等
音楽ロフト	約 196 m <sup>2</sup>
演劇ロフト	約 210 m <sup>2</sup>
美術ロフト	約 238 m <sup>2</sup>
演劇練習室	約 88 m <sup>2</sup>
映像シアター	約 115 m <sup>2</sup>
水と緑の広場	約 3,000 m <sup>2</sup>
音楽練習室①	約 27 m <sup>2</sup>
音楽練習室②	約 20 m <sup>2</sup>
音楽練習室③	約 20 m <sup>2</sup>
ギャラリー	約 61.5 m <sup>2</sup>
木工作業室	約 70 m <sup>2</sup>
ワークショッフルーム（洋室）	約 100 m <sup>2</sup>
ワークショッフルーム（和室）	約 52 m <sup>2</sup>
研修室	約 48 m <sup>2</sup>
レセプションホール	約 235 m <sup>2</sup>
会議室	約 20 m <sup>2</sup>
控室	約 13.5 m <sup>2</sup>



KANI PUBLIC ARTS CENTER *ala*

## 公益財団法人 可児市文化芸術振興財団 アニュアルレポート2023

---

発 行：公益財団法人可児市文化芸術振興財団  
〒509-0203 岐阜県可児市下恵土3433番地139  
TEL: 0574-60-3311 FAX: 0574-60-3312  
https://www.kpac.or.jp  
発行日：令和6年8月